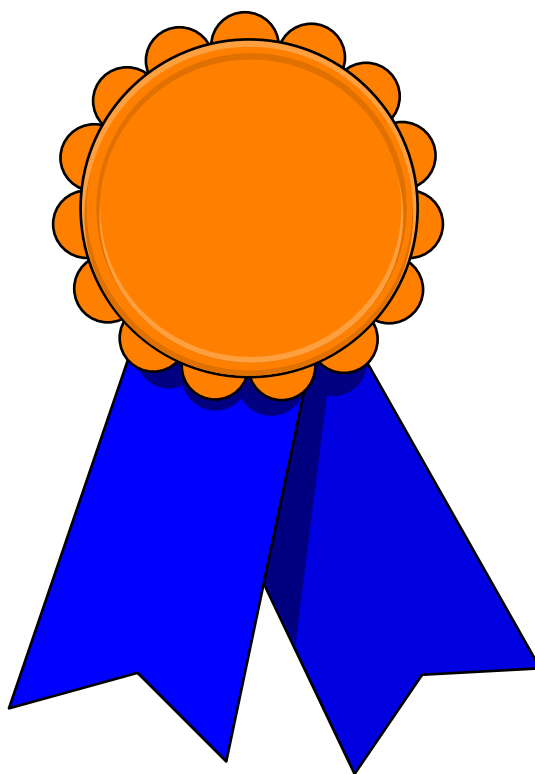

Azia'n Transfer入門



ソフト・アンド・ソウル

目次

1	Azia'n Transfer に触れる前に	6
1.1	Azia'n Transfer とは？	6
1.2	Azia'n Transfer の構成	6
1.3	Azia'n Transfer の特徴	7
1.3.1	ホストコンピュータとパソコンの仲立	7
1.3.2	機種のを壁を越えた共通性	7
1.3.3	基本操作の統一	7
2	Azia'n Transfer の起動	8
2.1	Azia'n Transfer の起動	8
2.1.1	E T O S エミュレータを立ち上げる	8
2.1.2	オンラインと接続する	8
2.1.3	VIS の初期画面が表示される	9
2.1.4	Azia'n Transfer のメニュー画面が表示される	9
☺	VIS メニュー管理システム	10
3	Azia'n Transfer の終了	11
3.1	Azia'n Transfer の終了 1	11
3.1.1	選択番号入力画面から終了する	11
3.2	Azia'n Transfer の終了 2	11
4	基本操作	12
4.1	マウスを利用できる環境設定をする	12
4.2	動作端末環境を登録する	13
4.2.1	加入者情報メンテナンス画面を表示する	13
4.2.2	加入者情報メンテナンス画面から動作端末・プリンタを登録する	13
4.2.3	送受信端末情報メンテナンス画面を表示する	14
4.2.4	送受信端末情報メンテナンス画面から送受信端末情報を更新する	14
4.2.5	プリンタ端末情報メンテナンス画面を表示する	15
4.2.6	プリンタ端末情報メンテナンス画面からプリンタ端末情報を更新する	15
4.2.7	ファイル情報メンテナンス画面を表示する	16
4.2.8	ファイル情報メンテナンス画面からファイル情報を登録する	16
4.2.9	帳票情報メンテナンス画面を表示する	17
4.2.10	帳票情報メンテナンス画面から帳票情報を登録する	17
4.3	パソコンの情報を A C O S に転送する	18
4.3.1	表計算ソフトで作成されたデータをテキスト形式で保存する	18
4.3.2	テキストデータを A C O S に送信する	18
4.3.4	A C O S に送信・格納されたデータを取り出し業務で利用する	19

☺	区切り文字付きテキストファイル変換モジュール (PC to ACOS)	21
4.4	ACOSの情報をパソコンの表計算ソフトで利用する	22
4.4.1	ACOSの業務データを Azia'n Transfer へ登録する	22
4.4.3	テキストデータ受信中の画面とその確認	23
4.4.4	受信した情報を表計算ソフトで開く	24
☺	区切り文字付きテキストファイル変換モジュール (ACOS to PC)	25
4.5	ACOSの帳票情報をPC / 端末プリンタに印刷する	26
4.5.1	ACOSの業務帳票データを Azia'n Transfer へ登録する	26
4.5.2	登録した帳票情報を印刷する	27
4.6	ACOSの帳票情報をPC / 端末画面から検索する	28
4.6.1	ACOSの業務帳票データを Azia'n Transfer へ登録する	28
4.6.2	登録した帳票情報を受信する	29
4.6.3	帳票情報受信中の画面とその確認	29
4.6.4	受信した情報をメモ帳やワードパット、ライトで開く	30
5	応用	31
5.1	アイコンをクリックするだけで送受信処理を行う	31
5.1.1	コマンドファイルの作成	31
5.1.2	簡易操作実行用ETOSリソースの作成	32
5.1.3	実行用アイコンの作成	32
5.1.4	アイコンをクリックして送受信処理を行う	33
☺	送信の簡易操作スクリプト記述例	34
5.2	メニューから選択するだけで送信処理を行う	35
5.2.1	ファイル送信時画面情報を表示する	35
5.2.2	ファイル送信画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する	36
5.2.3	メニュー画面情報メンテナンス画面を表示する	37
5.2.4	メニュー画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する	37
5.2.5	実際にメニューから選択して送信処理を行う	38
5.3	メニューから選択するだけで受信処理を行う	39
5.3.1	ファイル受信時画面情報を表示する	39
5.3.2	ファイル受信画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する	40
5.3.3	メニュー画面情報メンテナンス画面を表示する	41
5.3.4	メニュー画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する	41
5.3.5	実際にメニューから選択して受信処理を行う	42
5.4	ファイル送信完了と同時にバッチ処理を起動する	43

5.4.1	ファイル作成時情報を表示する。	43
5.4.2	ファイル作成時情報メンテナンス画面から起動処理情報を登録する ...	44
☺	A V E C S V I S ジョブ管理システムとは	45
5.5	ファイル毎に状態を検索する	46
5.5.1	ファイル別明細状況検索画面を表示する	46
5.5.2	ファイル別明細状況検索画面から状態を表示する	47
5.6	ホスト主導型での自動送受信	48
5.6.1	受動送受信画面を表示する	48
5.6.2	受動送受信画面を終了する	49
5.6.3	ホストで作成されたデータを即、端末へ自動配信する(※AZFSET 応用) .	50
5.6.4	予め Azia'n Transfer に登録したデータに対しての自動配信要求(JCL) ..	51
5.6.5	予め Azia'n Transfer に登録したデータに対しての自動配信要求(画面) .	52
5.6.6	予めパソコンに存在するデータに対しての自動集信要求(JCL)	54
5.6.7	予めパソコンに存在するデータに対しての自動集信要求(画面)	55
5.7	A C O S の帳票を今すぐホームページとして提供	57
5.7.1	A C O S の業務帳票データを Azia'n Transfer へ登録する	57
5.7.2	登録した帳票情報をホームページとして受信する	58
5.7.3	帳票情報受信中の画面とその確認	58
5.7.4	受信した帳票情報をブラウザで開く	59
5.8	A z i a ' n T r a n s f e r の R J E 機能	61
5.8.1	A C O S 送信用の J C L データを用意する	61
5.8.2	J C L データを A C O S に送信する	61
5.8.3	J C L データ送信中の画面と起動確認	62
5.9	加入者毎、又は端末毎に表示するメニューを変える。	63
5.9.1	V I S メニュー情報メンテナンス画面を表示する。	63
5.9.2	個別メニュー画面を作成する。	64
5.9.3	資源別メニュー情報メンテナンス画面を表示する。	65
5.9.4	資源別メニュー情報を登録する。	65
5.10	A z i a ' n T r a n s f e r 経由印刷後のプリンタ制御	66
5.10.1	端末制御情報メンテナンス画面を表示する	66
5.10.2	端末制御情報メンテナンス画面を使ってシーケンスを登録する	67
5.10.3	登録したシーケンスをプリンタ単位に設定する	68
5.10.4	登録したシーケンスを帳票単位に設定する	68
5.11	A z i a ' n T r a n s f e r を使った PC-COBOL の利用	69
5.11.1	固定長順ファイルを Azia'n Transfer システムに登録する	69
5.11.2	登録された固定長順ファイルをパソコンに受信する	70

5.11.3	固定長順ファイルをホストに送信する	70
5.11.4	登録された固定長順ファイルを Azia'n Transfer システムから取得する ..	71
6	ヘルプを使う	72
6.1	説明（ヘルプ）の使い方	72

1.3 Azia'n Transferの特徴

Azia'n Transferの特徴はいろいろあります。その中からいくつか挙げてみましょう。

1.3.1 ホストコンピュータとパソコンの仲立

現在お持ちのホストコンピュータの情報をパソコン側に渡したり、パソコンで持つ情報をホストコンピュータに渡したりと、ホストコンピュータとパソコンの仲立をしてくれます。そして、ワープロや表計算やデータベース、インターネットブラウザといった様々なソフトウェアへ簡単に移行して利用出来るようにします。

1.3.2 機種種の壁を越えた共通性

現在、様々なメーカーからパソコンが発売されています。しかし、Azia'n Transferは原則としてどのメーカーのパソコンでもETOSエミュレータが動いているパソコンなら、使うことができます。例えば、今まで利用していた情報系の端末（N5200,S3100など）やDOS,DOS/V,UNIX,Express,OP-X,・・・等々でもパソコンと同じ操作方法で同じ情報交換のサービスが受けられます。また、情報系端末の持つ情報（例えばLANPLANで作成した表データ）をパソコンのEXCELやLOTUS1-2-3でも利用したい場合にもACOSをゲートウェイとして、簡単に情報交換ができます。



1.3.3 基本操作の統一

どのパソコン・端末でも、基本的な操作の方法が統一されています。例えば「PC98」と「N5200」は異なるコンピュータですが、共通してVISのTPPをエンジンにしているためメニューの表示やマウスの使い方等、基本的な操作の方法は同じです。はじめて使うコンピュータでもある程度操作方法を予測することができます。また、画面がビジュアルにできているので直感的で、かつ試行錯誤しながら操作することができます。

2 Azia'n Transferの起動

2.1 Azia'n Transferの起動

2.1.1 ETOSエミュレータを立ち上げる

ETOSエミュレータを起動します。以下の画面が表示されます。



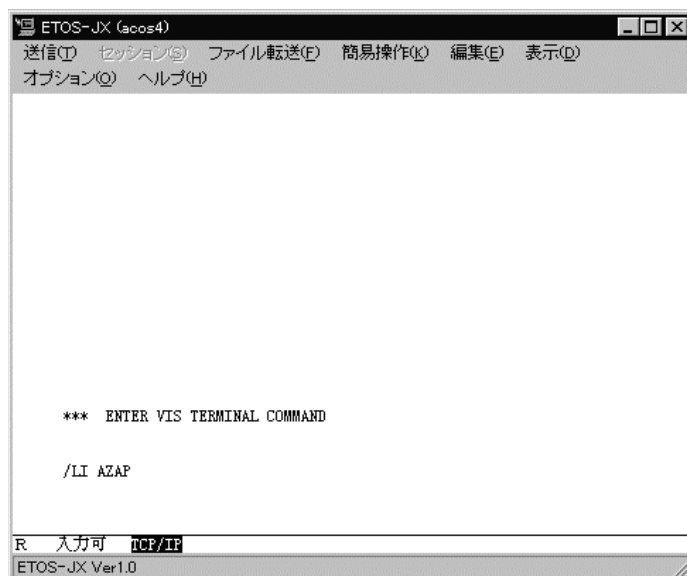
2.1.2 オンラインと接続する

キーボードから"%CON VIS"と入力し、最後に実行キーを押してください。
この画面からは、大文字としてしか認識しませんので、注意してください。



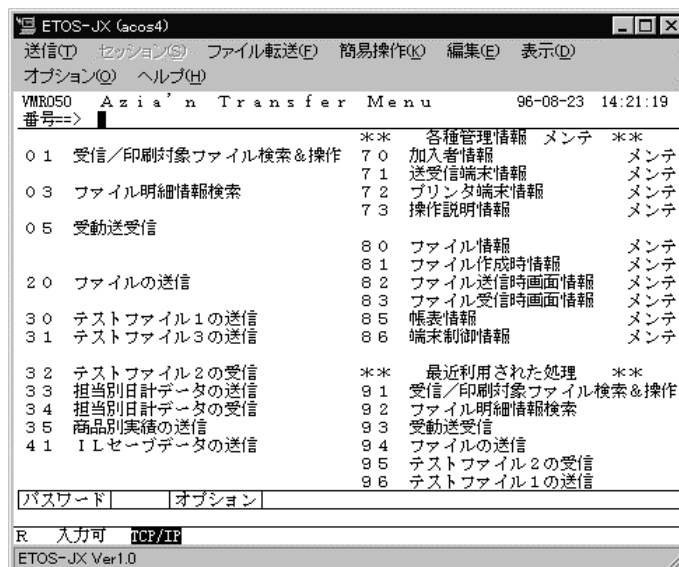
2.1.3 VIS の初期画面が表示される

“CONREQ COMPLETED”のメッセージが表示された後、しばらくすると、VIS の初期画面が表示されます。但し、この初期段階では設定により異なる画面であったり、既に業務に接続されていることがありますので、このような場合には L0(LOGOUT)コマンドで現在の業務から切り離し、コマンド入力画面から”/LI AZAP”と入力し、実行キーを押してください。



2.1.4 Azia'n Transferのメニュー画面が表示される

Azia'n Transfer を起動すると最初に AVECS の VIS メニュー管理システムから「Azia'n Transfer Menu」が現われます。このメニュー画面から、すべての送受信操作や各種のメンテナンス操作を行います。



POINT <メニュー画面>

☺ VISメニュー管理システム

VISメニュー管理システムは、AVECSシステムコンポーネントの一部であり、VISにおける各種処理選択の為のメニュー機能を汎用的に提供することを目的に開発されたサブシステムです。本メニューはLIEXIT,AP内におけるPFキー押下、もしくは専用のサブルーチンのいずれかによって呼び出されます。また、本メニューからは、各ユーザーTPPの初期画面、本システムの他のメニュー画面、AVECSや Azia'n Transferの各処理画面等の選択やAVECS/VJ配下のJOB起動を行う事が可能です。尚、各処理から本メニューに戻るときは、基本的に専用のサブルーチンを用いますが、業務処理が問い合わせ(INQ)型となっている場合にはPFキーによって戻ることも可能です。

本システムは Azia'n Transferに標準装備されています。既存業務メニューに応用される場合には弊社担当SEにご相談ください。

ETOS-JX (acos4)

送信(T) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(K) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

VMR060* *** VISメニュー情報メンテナンス 頁No. 1 96-08-23 15:15:24

処理=> R:読込 I,DL,DD,K,M,P:編集 L:確認 D:削除 W:書込
1,[頁No]:改訂 9:終了

メニューID APINIT AP名 AZAP チェック区分
見出し Azia'n Transfer Menu 見出し色
補助メッセージ 補助メッセージ色
初期メッセージ

No.	処理名称	C	KB	処理ID	処理引継パラメータ
1	受信/印刷対象ファイル検索&操作	W	C	AXS_51	,,A
3	ファイル明細情報検索	W	L	AX52AL	
5	受動送受信	Y	C	AZACPT	Y
20	ファイルの送信	W	L	AX30AL	

●補足説明
 <C:色> W:白 G:緑 C:シアン B:青 R:赤 Y:黄 M:マゼンタ
 <KB:区分> M:メニュー L:画面 J:JOB <処理ID> M:メニューID L:MPDL名 J:JOB名

R 入力可 TCF/IP

ETOS-JX Ver1.0

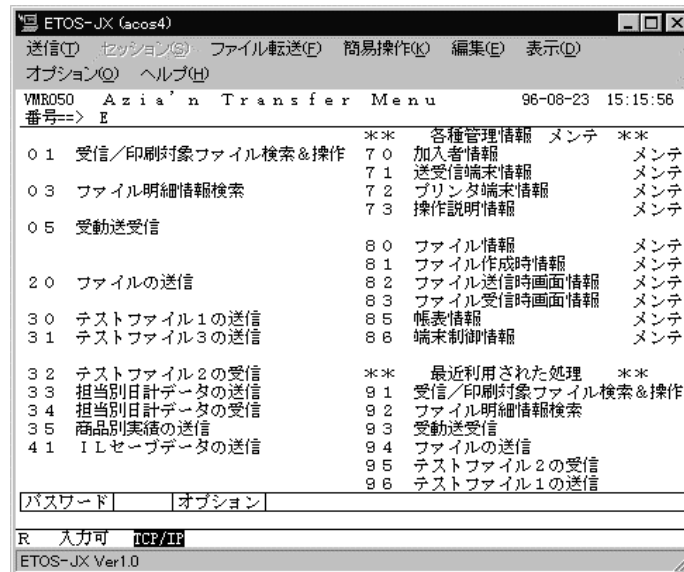
- メンテナンス画面 -

3 Azia'n Transferの終了

3.1 Azia'n Transferの終了1

3.1.1 選択番号入力画面から終了する

「番号==>」にカーソルを合わせて「E」を入力し実行キーを押す。

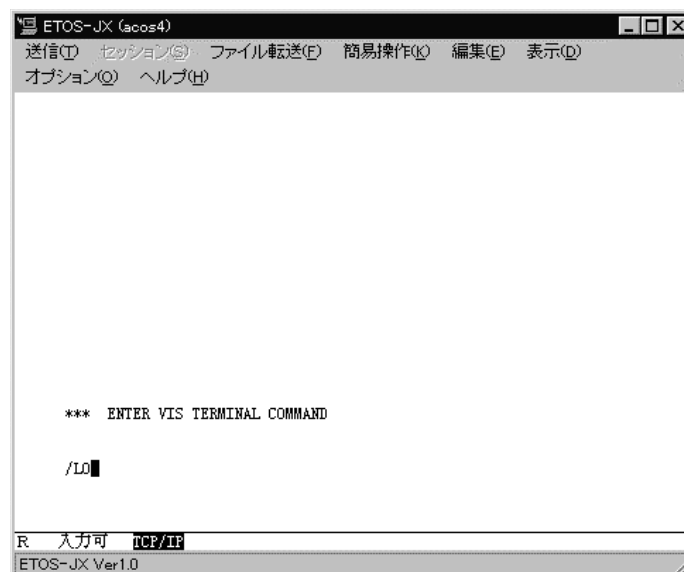


3.2 Azia'n Transferの終了2

Azia'n Transfer を終了させる、もう一つのやり方を説明します。

3.2.1 コマンド入力画面から終了する

コマンド入力画面から「/L0」と入力し、実行キーを押してください。



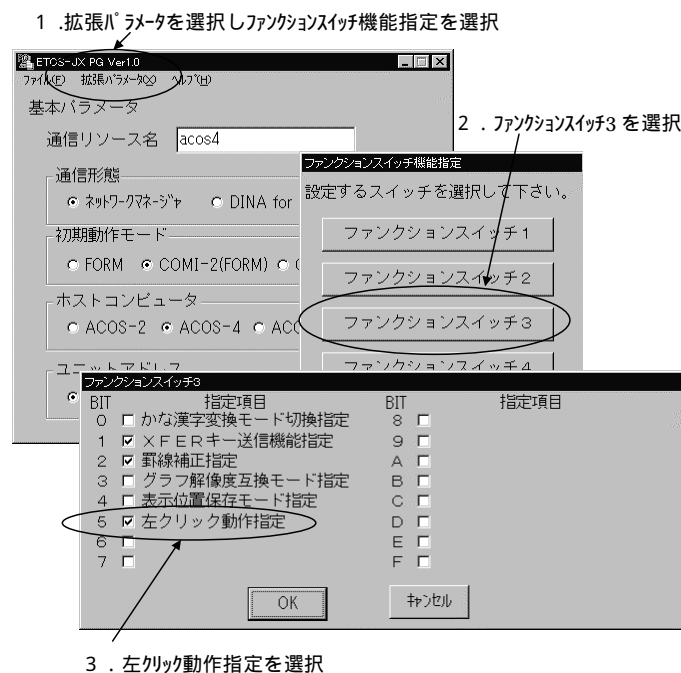
4 基本操作

Azia'n Transferでは、画面に表示されるいろいろなものを動作指示するために、マウスやカーソルを使います。ここでは、マウスやカーソルの操作方法を説明します。

4.1 マウスを利用できる環境設定をする

ETOSエミュレータの初期値ではマウスをクリックしてもカーソルが移動しません。Azia'n Transferではほとんどの指示においてマウス対応されており、Windowsの特異性が生かせません。このためETOSエミュレータ生成用プログラムモジュール(ETOS-JXPG)において再設定しておく必要があります。

尚、本設定はWindows95のETOS-JX Ver1.0以降に対応しておりこれより前のバージョンではカーソルによる移動で利用してください。



ETOSエミュレータを再起動するまでは前の設定が生きていますので、本設定内容を利用するにはETOSエミュレータを再起動してください。

4.2.3 送受信端末情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から送受信端末情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて"71"を入力し実行キーを押すと「送受信端末情報メンテナンス画面」が表示されます。

[illegible]

4.2.4 送受信端末情報メンテナンス画面から送受信端末情報を更新する

端末 I Dを入力の後、「=>」の位置で” 端末 I D”を入力して実行を押します。画面下に「端末情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。通常、加入者情報のメンテナンス画面から登録すると自動的に登録されますが、P C系端末と情報系端末が混在するような場合には当該画面の端末 TYPEを修正する必要があります。

例) 端末 TYPE
情報系端末: N52
PC98 端末: P98
DOS/V 端末: PC

4.2.5 プリント端末情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」からプリンタ端末情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて"72"を入力し実行キーを押すと「プリンタ端末情報メンテナンス画面」が表示されます。

4.2.6 プリンタ端末情報メンテナンス画面からプリンタ端末情報を更新する

プリンタIDを入力した後、「=>」の位置で”W プリンタID”を入力して実行を押します。画面下に「プリンタ情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。通常、加入者情報のメンテナンス画面から登録すると自動的に登録されますが、PC系プリンタと情報系プリンタが混在するような場合には当該画面のプリンタ種別を修正する必要があります。

例) プリント種別

<情報系フリンタ>

漢字シリアル:KSP

漢字ライン :KLP

< P C 系フ リンタ >

PR201 系:PPR

NIP系 :PNP

4.2.7 ファイル情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」からファイル情報メンテナンス画面を表示してみましょう。
「番号==>」にカーソルを合わせて「80」を入力し実行キーを押すと「ファイル情報メンテナンス画面」が表示されます。

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AO ファイル情報 メンテナンス 96-08-26 17:43:40

=>

0: 表示	R: [ファイルID]: 読込	W: [ファイルID]: 書込	D: 削除
F: 次キー位置付け	T: 操作説明	9: 終了	

ファイルID :

ファイル名称:

格納場所 ☐ (00~19: 待機結合編成 F の 0 番から 9 番 R: RDB)

チェック区分 ☐ (N: チェック無し P: 利用者アクセス権 T: 端末アクセス権 B: 双方)

消去期限 ☐ (未受信・未抽出状態にて保存される日数 0なら永久的に保存)

●拡張情報

いじり区分 ☐ (A: 宛先がリスト側加入者の時もいじりには宛先加入者を使用する
H: 上記の場合は発生源加入者をいじりにする。)

受信単位 ☐ (F: ファイル単位のみ H: 発生源単位のみ S: ファイル明細単位のみ
N: 全ての単位で可)

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

4.2.8 ファイル情報メンテナンス画面からファイル情報を登録する

ファイル名称を入力した後、「=>」の位置で「W ファイルID」を入力して実行を押します。画面下に「ファイル情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AO ファイル情報 メンテナンス 96-08-26 17:52:12

=> W TEXTFILE

0: 表示	R: [ファイルID]: 読込	W: [ファイルID]: 書込	D: 削除
F: 次キー位置付け	T: 操作説明	9: 終了	

ファイルID :

ファイル名称:

格納場所 ☐ (00~19: 待機結合編成 F の 0 番から 9 番 R: RDB)

チェック区分 ☐ (N: チェック無し P: 利用者アクセス権 T: 端末アクセス権 B: 双方)

消去期限 ☐ (未受信・未抽出状態にて保存される日数 0なら永久的に保存)

●拡張情報

いじり区分 ☐ (A: 宛先がリスト側加入者の時もいじりには宛先加入者を使用する
H: 上記の場合は発生源加入者をいじりにする。)

受信単位 ☐ (F: ファイル単位のみ H: 発生源単位のみ S: ファイル明細単位のみ
N: 全ての単位で可)

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

4.2.9 帳票情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から帳票情報メンテナンス画面を表示してみましょう。
「番号==>」にカーソルを合わせて「85」を入力し実行キーを押すと「帳票情報メンテナンス画面」が表示されます。

ETOS-JX (acos4)

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)

オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AO 帳票情報 メンテナンス 96-09-03 13:44:01

=>

0: 表示 R: [帳票ID]: 読込 W: [ファイルID]: 書込 D: 削除
F: 次ページ位置付け T: 操作説明 9: 終了

帳票ID:

帳票名称:

用紙種別:

行数/頁:

行間隔: (W: 1/6 U: 1/8 1: 18/120)

HOF: (ハットワフォーム)

FF1: (フルフォーム)

日本語タッチ: (0: 14.4 2: 10.8)

編集モード: (M: ノーマル S: システム F: 拡張 A: 自動)

開始メッセージ: (Y: 付加する N: 付加しない)

終了メッセージ: (Y: 付加する E: データ無し時のみ N: 付加せず)

FORMSET: FORMLIB:

制御情報1: 制御情報2: 制御情報3:

格納場所: (LD~L9: 待機結合編成Fの0番から9番 R: RDB)

保存区分: (M: 保存せず Y: 印刷完了後も消去処理実行するまで保存される)

ページ数:

出力優先度: 5 (既定値=5)

消去期限: (未出力状態でも保存される日数 0なら永久的に保存)

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

4.2.10 帳票情報メンテナンス画面から帳票情報を登録する

ファイル名称を入力した後、「=>」の位置で「W 帳票ID」を入力して実行を押します。
画面下に「帳票情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

ETOS-JX (acos4)

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)

オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AO* 帳票情報 メンテナンス 96-09-03 13:51:47

=> W

0: 表示 R: [帳票ID]: 読込 W: [ファイルID]: 書込 D: 削除
F: 次ページ位置付け T: 操作説明 9: 終了

帳票ID: AZLIST K

帳票名称: 加入者情報一覧表

用紙種別: S 専用

行数/頁: 66

行間隔: W (W: 1/6 U: 1/8 1: 18/120)

HOF: (ハットワフォーム)

FF1: (フルフォーム)

日本語タッチ: 0 (0: 14.4 2: 10.8)

編集モード: N (M: ノーマル S: システム F: 拡張 A: 自動)

開始メッセージ: N (Y: 付加する N: 付加しない)

終了メッセージ: E (Y: 付加する E: データ無し時のみ N: 付加せず)

FORMSET: FORMLIB:

制御情報1: 制御情報2: 制御情報3:

格納場所: LD (LD~L9: 待機結合編成Fの0番から9番 R: RDB)

保存区分: Y (M: 保存せず Y: 印刷完了後も消去処理実行するまで保存される)

ページ数:

出力優先度: 5 (既定値=5)

消去期限: (未出力状態でも保存される日数 0なら永久的に保存)

R 入力可 TCP/IP

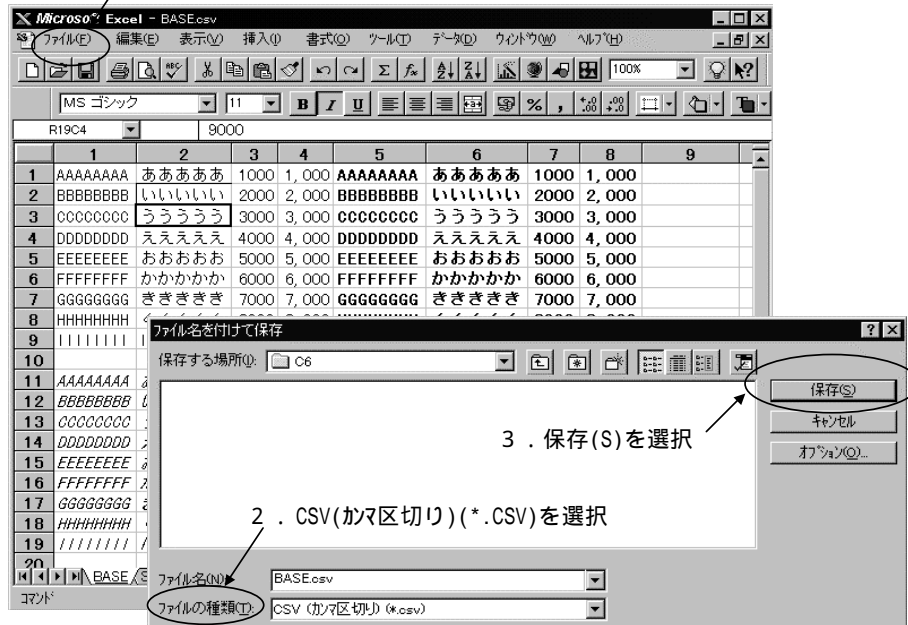
ETOS-JX Ver1.0

4.3 パソコンの情報を A C O S に転送する

4.3.1 表計算ソフトで作成されたデータをテキスト形式で保存する

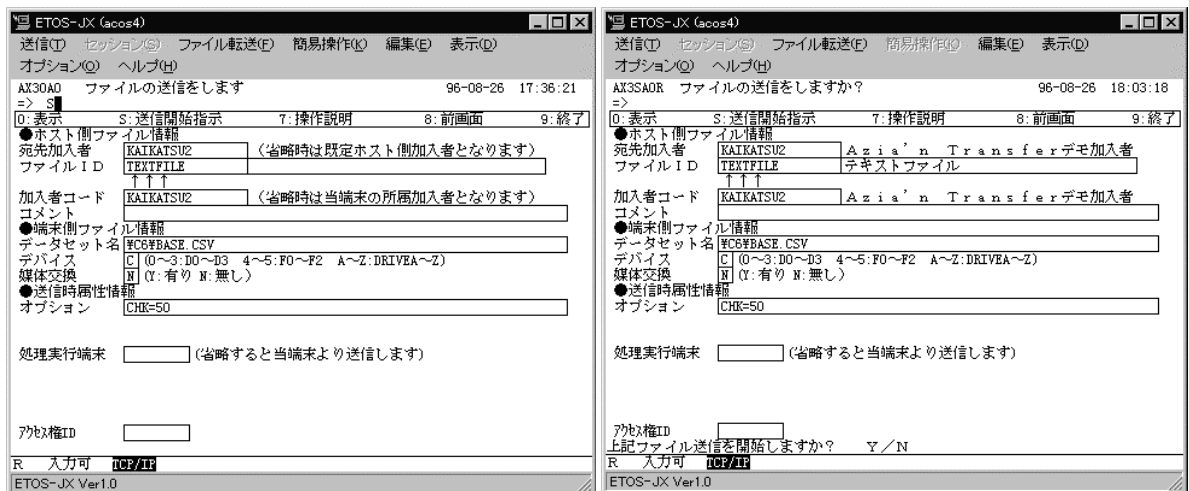
表計算ソフトで作成された情報をテキスト形式(CSV 又は TXT)に変更して保存します。

1. ファイルを選択し名前を付けて保存(A)を選択す



4.3.2 テキストデータを A C O S に送信する

「Azia'n Transfer Menu」からファイルの送信画面を表示してみましょう。「番号 ==>」にカーソルを合わせて「20」を入力し実行キーを押すと「ファイル送信画面」が表示されます。次に必要項目に値を入力し、この状態で実行キーを押すと「上記ファイル送信を開始しますか? Y / N」を聞いてきますので「Y」を入力すると送信が始まります。

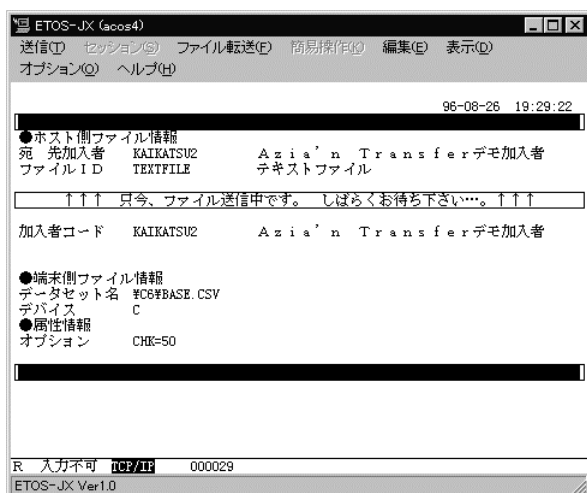


実行キー押下前

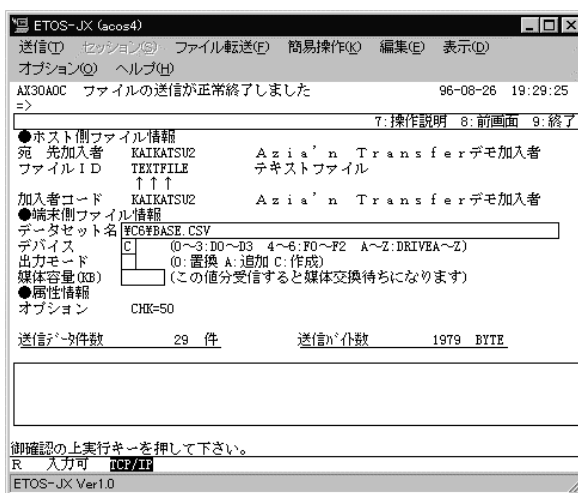
実行キー押下後

4.3.3 テキストデータ送信中の画面とその確認

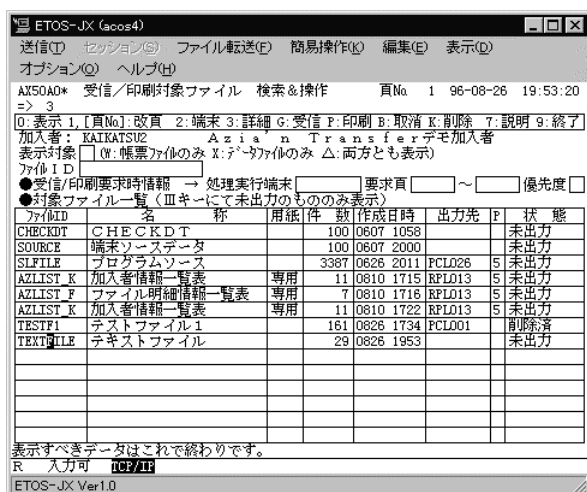
テキストデータの送信処理中は「只今、ファイル送信中です。しばらくお待ち下さい。」というメッセージが表示されます。このとき画面下中央に送信件数が表示されますので転送件数の目安にしてください。送信処理が終了すると送信データ件数、送信バイト数が表示されますので確認した後、実行キーを押下すると初期メニュー「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。



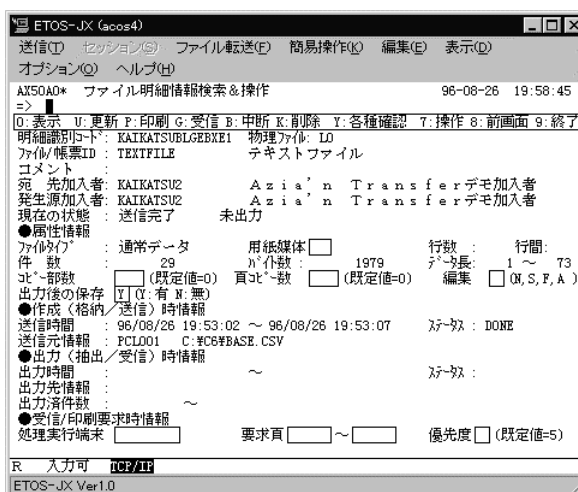
- 1 .送信処理中画面 -



- 2 . 送信処理終了画面



- 3 .受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面 -



- 4 .ファイル明細情報検索 & 操作 -

初期メニューから「受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面」を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面」が表示され先程転送したテキストデータの状態が確認できます。更に詳細な情報が必要な場合には「==>」にカーソルを合わせて「3」を入力し、続いて該当する明細にカーソルを合わせます。この状態で実行キーを押すと「ファイル明細情報検索 & 操作」が表示されます。

4.3.4 A C O S に送信・格納されたデータを取り出し業務で利用する

パソコン及び端末から A C O S に送信・格納されたテキストデータを A C O S 業務処理で利用するために取り出してみましょう。Azia'n Transfer システムからのデータ取り出しには専用の J C L ("¥AZFGET")を利用して取り出します。

加入者 "KAIKATSU2" に登録されている ファイル "TEXTFILE" を取り出し、公用ボリューム(PUBLIC)に "TEXTDATA" という名前で出力します。このときに取り出すデータ形式が区切り文字付きテキストデータであるため、プラグインモジュール "AZTXCVPA" を利用してフォーマット変換し、業務処理で利用できる形式に変換したデータを出力します。

```
000010  ¥AZFGET  OUTFILE=(TEXTDATA PUBLIC SIZE=1)
000020          FLID=TEXTFILE          AKSCD=KAIKATSU2
000030          PLUGIN=AZTXCVPA          PLUGPRM=INPFORM
000040          PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN);
000050  ¥INPUT  INPFORM;
000060  (X,1,8,N' 1 文字')(N,,5,N' 2 漢字')(9,,5,N' 3 数字')
000070  (S9,,5,N' 4 数字')(X,,8,N' 5 文字')(N,,5,N' 6 漢字')
000080  (C3,,5,N' 7 数字')(C2,,5,N' 8 数字')
000090  ¥ENDINPUT;
```

- Azia'n transfer システムからの取り出し用 JCL -

出力されるファイルのレイアウトは次のような形式で出力されます。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 取り出し処理により作成されるファイルレイアウトイメージ -

¥AZFGET 及びプラグインモジュールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

「受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面」では状態が未出力から抽出完了へと変化します。

ETOS-JX (acos4)

送信(F) オプション(O) ファイル転送(E) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(Q)

オプション(O) ヘルプ(H)

AX50AD* 受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作 頁 No. 1 96-08-28 15:13:09 => 3

0: 表示 1: [頁 No.] 改頁 2: 端末 3: 詳細 G: 受信 F: 印刷 B: 取消 K: 削除 Y: 説明 9: 終了

加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

表示対象: (W: 帳票ファイルのみ X: データファイルのみ △: 両方とも表示)

ファイル ID

●受信 / 印刷要求時情報 → 処理実行端末 要求頁 ~ 優先度

●対象ファイル一覧 (皿キーにて未出力のもののみ表示)

ファイル ID	名 称	用紙	件 数	作成日時	出力先	F	状 態
CHECKDT	C H E C K D T		100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ		100	0607 2000			未出力
SLFILE	プログラムソース		3387	0626 2011	PCL026	5	削除済
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RPL013	5	未出力
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RPL013	5	未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RPL013	5	未出力
TEXTFI1	テキストファイル 1		161	0826 1734	PCL001		削除済
TEXTFI1	テキストファイル		29	0826 1953	X000271		抽出完了
AZPROTFL	ライセンス情報		1	0826 2309	WS5412	5	受信完了

表示すべきデータはこれで終わります。

R 入力可 **RC7/11**

ETOS-JX Ver1.0

ETOS-JX (acos4)

送信(F) オプション(O) ファイル転送(E) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(Q)

オプション(O) ヘルプ(H)

AX50AD* ファイル明細情報検索 & 操作 96-08-28 15:15:15 =>

0: 表示 U: 更新 F: 印刷 G: 受信 B: 中断 K: 削除 Y: 各種確認 T: 操作 8: 前画面 9: 終了

明細情報リスト: KAIKATSU2LGEEXE1 物理ファイル: LO

ファイル帳票ID: TEXTFILE テキストファイル

コメント

宛 先加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

発生源加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

現在の状態: 送信完了 抽出完了

●属性情報

ファイル: 通常データ 用紙媒体 行 数: 行間: 1 ~ 73

件 数: 29 頁 数: 1979

コピー部数: (既定値=0) 編集 (M, S, F, A)

出力後の保存 Y (Y: 有 N: 無)

●作成 (格納 / 送信) 時情報

送信時間: 96/08/26 19:53:02 ~ 96/08/26 19:53:07 ｽﾃｰｽﾞ: DONE

送信元情報: PCL001 C: ¥C6¥BASE CSV

●出力 (抽出 / 受信) 時情報

抽出時間: 96/08/28 15:12:29 ~ 96/08/28 15:12:42 ｽﾃｰｽﾞ: DONE

抽出先情報: X000271 AZFGET

抽出条件数: 1 ~ 29

●受信 / 印刷要求時情報

処理実行端末 要求頁 ~ 優先度 (既定値=5)

R 入力可 **RC7/11**

ETOS-JX Ver1.0

POINT <A Z T X C V P A>

☺ 区切り文字付きテキストファイル変換モジュール (PC to ACOS)

区切り文字付きテキストファイル変換モジュールは、Azia'n Transfer システムのコンポーネントの一部 (プラグインモジュール) であり、パソコンや端末で作成された表計算データを A C O S の内部で利用できる形式に変換するモジュールです。

(1) 機能

¥ A Z F G E T のプラグインモジュールである本プログラムは I N F I L E のパラメータにて指定されたデータファイルを A C O S アプリケーション用の「A C O S 内部データ形式ファイル」に変換することを目的としています。変換元ファイルと変換先ファイルのレイアウト情報は P L U G P R M で指定する S Y S I N パラメータにてレイアウト情報を与えます。また、区切り文字形式等の変換情報は P L U G O P T から与えます。尚、S Y S I N パラメータでは A R R A N G E 機能を利用することができます。

(2) J O B 制御言語

```
=====
¥AZFGET

                PLUGIN=AZTXCVPA
                PLUGOPT=(オプション文字列)
                PLUGPRM=出力データファイル記述領域名
                OUTFILE=(出力ファイル記述)
                :
                以後 ¥AZFGET のパラメータ記述と同様。
=====
```

4.4 A C O S の情報をパソコンの表計算ソフトで利用する

4.4.1 A C O S の業務データをAzia'n Transferへ登録する

A C O S の業務で利用しているデータをパソコンの表計算ソフトで利用するために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録します。Azia'n Transfer システムへのデータ登録には専用の J C L (“AZFSET”)を利用して登録します。

公用ボリューム(PUBLIC)に “TEXTDATA” という名前で存在するファイルを入力にして加入者 “KAIKATSU2” の ファイル “TEXTFILE” へ格納します。このときに登録するデータ形式が A C O S 内部形式データであるため、プラグインモジュール “AZTXCVAP” を利用してフォーマット変換し、パソコン側の表計算ソフトで利用できる形式に変換したデータを登録します。

```
000010  ¥AZFSET  INFILE=(TEXTDATA PUBLIC )
000020                                     FLID=TEXTFILE                      AKSCD=KAIKATSU2
000030                                     ATRMID=PCL001                      OPMD=N
000040                                     DSNM=/C6/BASE2.CSV                 DV=C
000050                                     PLUGIN=AZTXCVAP                      PLUGPRM=INPFORM
000060                                     PLUGOPT=(KANJI=KIKO,SEP=CSV,FORMAT=SYSIN);
000070  ¥INPUT  INPFORM;
000080  (X,1,8,N' 1 文字')(N,,5,N' 2 漢字')(9,,5,N' 3 数字')(S9,,5,N' 4 数字')
000090  (X,,8,N' 5 文字')(N,,5,N' 6 漢字')(C3,,5,N' 7 数字')(C2,,4,N' 8 数字')
000100  ¥ENDINPUT;
```

- Azia'n transfer システムへの登録用 JCL -

入力となるファイルのレイアウトは次のような形式です。

1 文字	2 漢字	3 数字	4 数字	5 文字	6 漢字	7 数字	8 数字
X(8)	N(5)	9(5)	S9(5)	X(8)	N(5)	S9(5) COMP-3	COMP-2

- 登録処理により入力となるファイルアウトメジ -

¥AZFSET 及びプラグインモジュールの詳細は Azia'n Transfer マニュアルをご覧ください。

ETOS-JX (acos4) 送信(□) セッション(□) ファイル転送(E) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(O) オプション(O) ヘルプ(H)

AX50A0* 受信/印刷対象ファイル 検索 & 操作 頁No. 1 96-08-28 15:33:00 => 3

0: 表示 1: [真偽] 改頁 2: 端末 3: 詳細 6: 受信 F: 印刷 K: 取消 T: 説明 9: 終了

加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

表示対象: (W: 帳票ファイルのみ X: データファイルのみ A: 両方とも表示)

ファイルID:

●受信/印刷要求時情報 → 処理実行端末 要求頁 ~ 優先度

●対象ファイル一覧 (Hキーにて未出力のもののみ表示)

ファイルID	名 称	用紙[件 数]	作成日時	出力先	F	状 態
CHECKDT	C H E C K D T	100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ	100	0607 2000			未出力
SLFILE	プログラムソース	3387	0626 2011	PCL026	5	削除済
AZLIST K	加入者情報一覧表	専用	11 0810 1715	RFL013	5	未出力
AZLIST F	ファイル明細情報一覧表	専用	7 0810 1716	RFL013	5	未出力
AZLIST K	加入者情報一覧表	専用	11 0810 1722	RFL013	5	未出力
TESTF1	テストファイル1	161	0826 1734	PCL001		削除済
TEXTFILE	テキストファイル	29	0826 1953	X000271		抽出完了
AZPHOTFL	ライセンス情報	1	0826 2309	WS5412	5	受信完了
TEXTFILE	テキストファイル	29	0828 1532	PCL001	5	未出力

表示すべきデータはこれで終わります。

R 入力可 **ICF/IF**

ETOS-JX Ver1.0

ETOS-JX (acos4) 送信(□) セッション(□) ファイル転送(E) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(O) オプション(O) ヘルプ(H)

AX50A0* ファイル明細情報検索 & 操作 96-08-28 15:38:36

0: 表示 U: 更新 F: 印刷 G: 受信 B: 中断 K: 削除 Y: 各種確認 7: 操作 8: 前画面 9: 終了

明細識別コード: KAIKATSUBLIDULE7 物理ファイル: LD

ファイル/帳票ID: TEXTFILE テキストファイル

コメント:

宛 先加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

発生源加入者: AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般

現在の状態: 格納完了 未出力

●属性情報

ファイル名: 通常データ 用紙媒体 ☐ 行数: 行間:

件 数: 29 紙枚数: 1979 データ長: 1 ~ 73

バイト部数: (既定値=0) 頁バイト数: (既定値=0) 編集 ☐ (O, S, F, A)

出力後の保存 ☐ (Y: 有 N: 無)

●作成/格納/送信時情報

格納元情報: 96/08/28 15:32:34 ~ 96/08/28 15:32:47 状態: DONE

格納元情報: X000283 AZFSET_JS

●出力/抽出/受信時情報

出力時間: ~ 状態:

出力先情報: PCL001 C:¥C6¥BASE2.CSV

出力条件数: ~

●受信/印刷要求時情報

処理実行端末 要求頁 ~ 優先度 (既定値=5)

R 入力可 **ICF/IF**

ETOS-JX Ver1.0

4.4.2 テキストデータをパソコンに受信する

「Azia'n Transfer Menu」から受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面を表示してみましよう。「番号==>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」が表示されます。次に「番号==>」に「G」と入力し、受信したいファイル明細にカーソルを位置づけて実行キーを押すと「上記ファイル受信を開始しますか？ Y / N」を聞いてきますので「Y」を入力すると受信が始まります。

ETOS-JX Ver1.0

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX30A0* 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作 頁No 1 96-08-28 15:46:13
=> G

0:表示 1:[頁No]:改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 F:印刷 B:取消 K:削除 7:説明 9:終了
加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
表示対象 (W:帳票以外のみ X:データファイルのみ △:両方とも表示)
ファイルID

●受信／印刷要求時情報 → 処理実行端末 要求頁 ~ 優先度
●対象ファイル一覧 (三キーにて未出力のもののみ表示)

ファイルID	名称	用紙	件数	作成日時	出力先	F	状態
CHECKDT	CHECKDT		100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ		100	0607 2000			未出力
SLFILE	プログラムソース		3387	0626 2011	PCL026	S	印刷済
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RFL013	S	未出力
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RFL013	S	未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RFL013	S	未出力
TESTFI	テストファイル1		161	0826 1734	PCL001		印刷済
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1953	K000271		抽出完了
AZPROFL	ライセンス情報		1	0826 2309	WS5412	S	受信完了
TEXTFILE	テキストファイル		29	0828 1532	PCL001	S	未出力

表示すべきデータはこれで終わります。
R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

ETOS-JX Ver1.0

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX30A0S ファイルの受信をしますか? 96-08-28 15:54:15
=>

0:表示 G:受信開始指示 7:操作説明 8:前画面 9:終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID TEXTFILE テキストファイル
コメント

↓↓↓
加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
受信範囲 A (F:未受信のデータのみ受信する A:受信済データも受信する)
受信後処理 Y (Y:受信済にする N:受信済にはしない)

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#BASE2.CSV
デバイス C (0~3:DO~D3 4~7:FO~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
出力モード N (0:置換 A:追加 C:作成)
データ長 (出力セット=N, C, E時に作成データの長を特定したい時指定)
(この値分受信すると媒体交換待ちになります)

●属性情報
メディア容量(KB)
オプション

処理実行端末 (省略すると当端末にて受信します)
アクセスID
上記ファイル受信を開始しますか? Y / N
R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

4.4.3 テキストデータ受信中の画面とその確認

テキストデータの受信処理中は「只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい。」というメッセージが表示されます。このとき画面下中央に転送件数が表示されますので受信件数の目安にして下さい。受信処理が終了すると受信データ件数、受信バイト数が表示されますので確認した後、実行キーを押下すると初期メニュー「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。

ETOS-JX Ver1.0

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

96-08-28 16:24:36

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID TEXTFILE テキストファイル

↓↓↓ 只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい。↓↓↓

加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#BASE2.CSV
デバイス C
●属性情報
メディア容量(KB)
オプション

R 送信中 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

ETOS-JX Ver1.0

送信(C) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX30A0C ファイルの受信が正常終了しました 96-08-28 16:24:45
=>

7:操作説明 8:前画面 9:終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID TEXTFILE テキストファイル
コメント

↓↓↓
加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
受信範囲 A (F:未受信のデータのみ受信する A:受信済データも受信する)
受信後処理 Y (Y:受信済にする N:受信済にはしない)

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#BASE2.CSV
デバイス C (0~3:DO~D3 4~7:FO~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
出力モード N (0:置換 A:追加 C:作成)
データ長 (出力セット=N, C, E時に作成データの長を特定したい時指定)
(この値分受信すると媒体交換待ちになります)

●属性情報
メディア容量(KB)
オプション

受信データ件数 29 件 受信バイト数 2037 BYTE

御確認の上実行キーを押して下さい。
R 入力可 TCP/IP

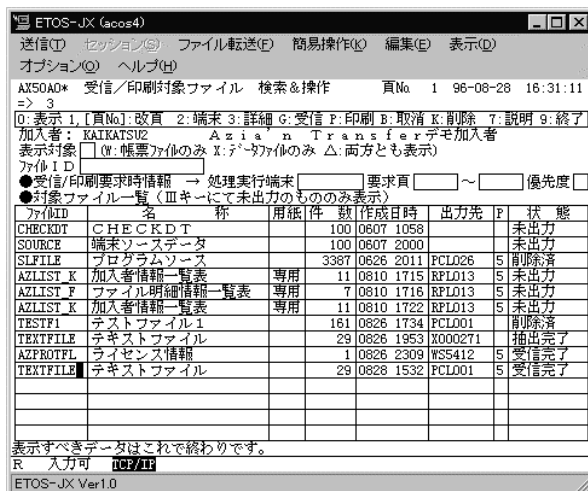
ETOS-JX Ver1.0

1. 受信処理中画面

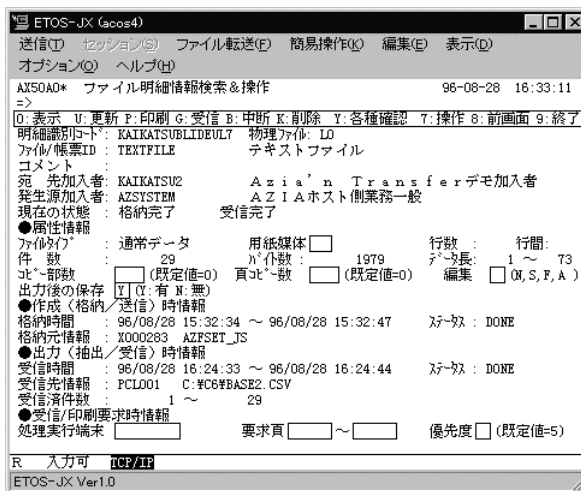
2. 受信処理終了画面

初期メニューから「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」を表示してみましよう。「番号==>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル

「検索 & 操作画面」が表示され先程受信したテキストデータの状態が確認できます。更に詳細な情報が必要な場合には「==>」にカーソルを合わせて「3」を入力し、続いて該当する明細にカーソルを合わせます。この状態で実行キーを押すと「ファイル明細情報検索 & 操作」が表示されます。



3 . 受信 / 印刷対象ファイル 検索 & 操作画面

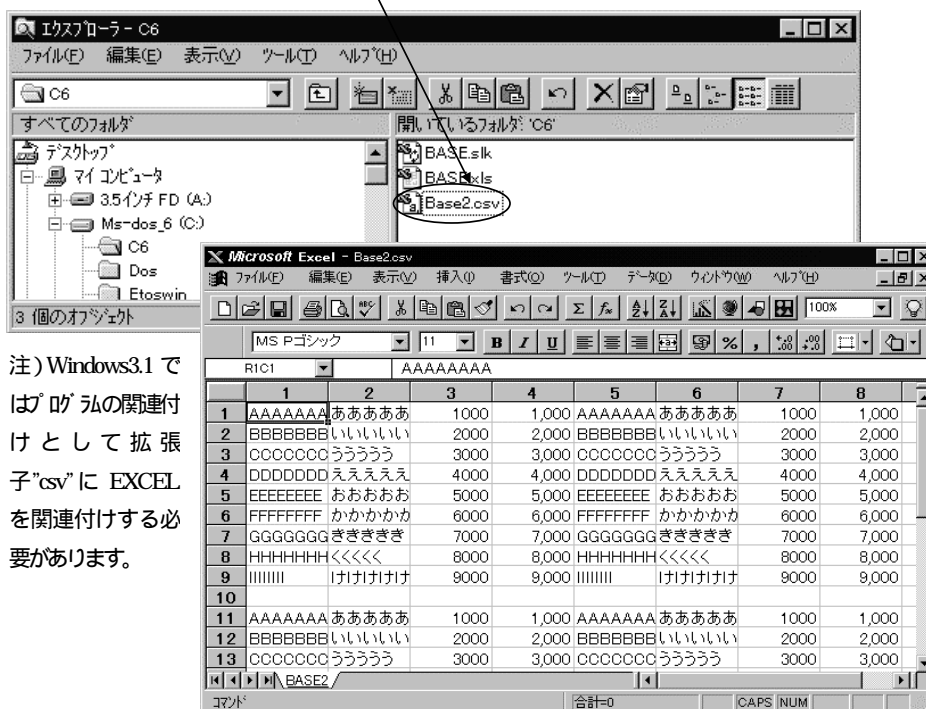


4 . ファイル明細情報検索 & 操作

4.4.4 受信した情報を表計算ソフトで開く

受信した情報を表計算ソフトで開いてみましょう。

1 . BASE2.CSV を選択しダブルクリックする



注) Windows3.1 では、データの関連付けとして拡張子"csv"に EXCEL を関連付けする必要があります。

POINT <A Z T X C V A P>

☺ 区切り文字付きテキストファイル変換モジュール (ACOS to PC)

区切り文字付きテキストファイル変換モジュールは、Azia'n Transfer システムのコンポーネントの一部 (プラグインモジュール) であり、ACOS で利用しているデータをパソコンや端末で利用している表計算データの形式に変換するモジュールです。

(1) 機能

¥AZFSET のプラグインモジュールである本プログラムはINFILEのパラメータにて指定されたデータファイルをPCアプリケーション用の「区切り文字付テキストファイル」に変換することを目的としています。変換元ファイルと変換先ファイルのレイアウト情報はPLUGPRMで指定するSYSINパラメータにてレイアウト情報を与えます。また、区切り文字形式等の変換情報はPLUGOPTから与えます。

尚、SYSINパラメータではARRANGE機能を利用することができます。

(2) JOB 制御言語

```
=====
¥AZFSET

                                PLUGIN=AZTXXCVAP
                                PLUGOPT=(オプション文字列)
                                PLUGPRM=入力データファイル記述領域名
                                INFILE=(入力ファイル記述)
                                :
                                以後 ¥AZFSET のパラメータ記述と同様。
=====
```

4.5 ACOSの帳票情報をPC / 端末プリンタに印刷する

4.5.1 ACOSの業務帳票データをAzia'n Transferへ登録する

ACOSの業務で印刷している帳票データ(例えば NIP:日本語プリンタや LP:ラインプリンタから印刷している帳票)をパソコン / 端末のプリンタに印刷するために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録します。Azia'n Transfer システムへのデータ登録には専用の JCL (“AZLSET”)を利用して登録します。

私有シスアウト(AVEC.PR)に “AZLIST_KS” という名前で存在する帳票ファイルを入力にして加入者 “KAIKATSU2” の 帳票 “AZLIST_K” へ格納します。

ETOS-JX (acos4)

送信(T) ヘルプ(H) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)

私有シスアウトの表示 'AVEC.PR (AZLIST_KS)' 現在位置: 1

サブコマンド ==> 送り: PAGE

***** テキストの先頭 *****

加入者コード	加入者名称	加入者種別
AZB_L010	A z i a	加入者情報一覧表
AKSYSTEM	A Z I A ホスト側業務一般	H: ホスト側加入者
AZSYSTEM	A Z I A ホスト側業務一般	H: ホスト側加入者

AZB_L010 ***** A z i a 加入者情報一覧表 *****

加入者コード 加入者名称 加入者種別

EIGY001 第一営業部 *: 共有加入者

●端末 → 1-PCL009 (P98) 2-PCL010 (P98) 3-PCL013 (P98)

6-PCL022 (P98) 7-PCL023 (P98) 8-PCL024 (P98)

11-PCL029 (P98) 12-PCL030 (P98) 13-PCL019 (P98)

●プリンタ → 1-RPL005 (PFR) 2-RPL007 (PFR) 3-RPL011 (PFR)

6-RPL015 (PFR)

AZB_L010 ***** A z i a 加入者情報一覧表 *****

加入者コード 加入者名称 加入者種別

EIGY002 第二営業部 *: 共有加入者

E---終了 F---検索 L---位置付 SR---送り CS---桁移動

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

- 入力帳票情報

```
000010  ¥AZLSET
000020      INFILE=(AVEC.PR  SHARE=DIR SUBFILE=AZLIST_KS )
000030      LISTID=AZLIST_K  AKSCD=KAIKATSU2  ATRMID=PCL001
000040      LISTNM='加入者情報一覧表' ;
```

- Azia'n transfer システムへの登録用 JCL -

入力データには Azia'n transfer システムのサービスプログラムである管理情報リストを使用しました。管理情報リスト (“AZLIST”) の利用方法は JCL マクロの使用方法を参照して下さい。

4.5.2 登録した帳票情報を印刷する

「Azia'n Transfer Menu」から受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」が表示されます。次に「番号==>」に「P」と入力し、印刷したい帳票明細にカーソルを位置づけて実行キーを押すと「... 印刷要求を受け付けました」というメッセージが返され状態が「用紙確認待ち」となります。次に用紙確認として「番号==>」に「Y」と入力し、印刷したい帳票明細にカーソルを位置づけて実行キーを押すと印刷が始まります。

尚、印刷中の状態は基本的に「未出力」「用紙確認待ち」「印刷準備中」「印刷中」「印刷完了」の順番で状態が変化します。ここでは全行程を順番に行いました。が「C L」の処理終了と同時に印刷を開始することも出来ます。

送信(D) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)
オプション(O) ヘルプ(H)
AX50AD* 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作 頁No 1 96-08-28 17:52:28
=> 3
0:表示 1:[頁No]:改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 P:印刷 B:取消 K:削除 7:説明 9:終了
加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
表示対象 (W:帳票ファイルのみ X:データファイルのみ △:両方とも表示)
ファイルID
●受信/印刷要求時情報 → 処理実行端末 要求頁 ~ 優先度
●対象ファイル一覧 (皿キーにて未出力のもののみ表示)
ファイルID 名称 用紙/枚数 作成日時 出力先 P 状態
CHECKDT CHECKDT 100 0607 1058 未出力
SOURCE 端末ソースデータ 100 0607 2000 未出力
SLFILE プログラムソース 3387 0626 2011 PCL026 5 削除済
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0810 1715 RPL013 5 未出力
AZLIST_F ファイル明細情報一覧表 専用 7 0810 1716 RPL013 5 未出力
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0810 1722 RPL013 5 未出力
TESTF1 テストファイル1 161 0826 1734 PCL001 5 削除済
TEXTFILE テキストファイル 29 0826 1953 X000271 5 抽出完了
AZPROTFL ライセンス情報 1 0826 2309 WS5412 5 受信完了
TEXTFILE テキストファイル 29 0828 1532 PCL001 5 受信完了
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0828 1752 RPL001 5 未出力
表示すべきデータはこれで終わります。
R 入力可 [C]/[F]
ETOS-JX Ver1.0

送信(D) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)
オプション(O) ヘルプ(H)
AX50AD* ファイル明細情報検索＆操作 96-08-28 17:53:45
=>
0:表示 U:更新 P:印刷 G:受信 B:中止 K:削除 Y:各種確認 7:操作 8:前画面 9:終了
明細情報: KAIKATSUSUBIDREC0 物理ファイルID
ファイル帳票ID: AZLIST_K 加入者情報一覧表
コメント
宛 先加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
発生源加入者: AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
現在の状態: 格納完了 未出力
●属性情報
ファイルID: 帳票 (SSF) 用紙媒体 S 行数: 66 行間: W
頁数: 11 頁枚数: 6905 データ長: 8 ~ 150
コメント: (既定値=0) 頁コメント数: (既定値=0) 編集 (N, S, F, A)
出力後の保存 (Y:有 N:無)
●作成(格納/送信)時情報
格納時間: 96/08/28 17:52:01 ~ 96/08/28 17:52:10 格納先: DONE
格納元情報: X000338 JAZ2_AZLIST_KS
●出力(抽出/受信)時情報
出力時間: ~
出力先情報: RPL001
出力済頁数: ~
●受信/印刷要求時情報
処理実行端末 要求頁 ~ 優先度 (既定値=5)
R 入力可 [C]/[F]
ETOS-JX Ver1.0

1. 帳票データの格納完了状態

送信(D) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)
オプション(O) ヘルプ(H)
AX50AD* 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作 頁No 1 96-08-28 18:11:09
=> 1
0:表示 1:[頁No]:改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 P:印刷 B:取消 K:削除 7:説明 9:終了
加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
表示対象 (W:帳票ファイルのみ X:データファイルのみ △:両方とも表示)
ファイルID
●受信/印刷要求時情報 → 処理実行端末 要求頁 ~ 優先度
●対象ファイル一覧 (皿キーにて未出力のもののみ表示)
ファイルID 名称 用紙/枚数 作成日時 出力先 P 状態
CHECKDT CHECKDT 100 0607 1058 未出力
SOURCE 端末ソースデータ 100 0607 2000 未出力
SLFILE プログラムソース 3387 0626 2011 PCL026 5 削除済
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0810 1715 RPL013 5 未出力
AZLIST_F ファイル明細情報一覧表 専用 7 0810 1716 RPL013 5 未出力
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0810 1722 RPL013 5 未出力
TESTF1 テストファイル1 161 0826 1734 PCL001 5 削除済
TEXTFILE テキストファイル 29 0826 1953 X000271 5 抽出完了
AZPROTFL ライセンス情報 1 0826 2309 WS5412 5 受信完了
TEXTFILE テキストファイル 29 0828 1532 PCL001 5 受信完了
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0828 1752 RPL001 5 用紙確認待ち
加入者情報一覧表 の印刷要求を受け付けました。
R 入力可 [C]/[F]
ETOS-JX Ver1.0

3. 印刷要求指示後の画面

2. 帳票データの詳細情報

送信(D) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)
オプション(O) ヘルプ(H)
AX50AD* 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作 頁No 1 96-08-28 18:13:56
=> 1
0:表示 1:[頁No]:改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 P:印刷 B:取消 K:削除 7:説明 9:終了
加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
表示対象 (W:帳票ファイルのみ X:データファイルのみ △:両方とも表示)
ファイルID
●受信/印刷要求時情報 → 処理実行端末 要求頁 ~ 優先度
●対象ファイル一覧 (皿キーにて未出力のもののみ表示)
ファイルID 名称 用紙/枚数 作成日時 出力先 P 状態
CHECKDT CHECKDT 100 0607 1058 未出力
SOURCE 端末ソースデータ 100 0607 2000 未出力
SLFILE プログラムソース 3387 0626 2011 PCL026 5 削除済
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0810 1715 RPL013 5 未出力
AZLIST_F ファイル明細情報一覧表 専用 7 0810 1716 RPL013 5 未出力
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0810 1722 RPL013 5 未出力
TESTF1 テストファイル1 161 0826 1734 PCL001 5 削除済
TEXTFILE テキストファイル 29 0826 1953 X000271 5 抽出完了
AZPROTFL ライセンス情報 1 0826 2309 WS5412 5 受信完了
TEXTFILE テキストファイル 29 0828 1532 PCL001 5 受信完了
AZLIST_K 加入者情報一覧表 専用 11 0828 1752 RPL001 5 印刷完了
表示すべきデータはこれで終わります。
R 入力可 [C]/[F]
ETOS-JX Ver1.0

4. 印刷完了後の画面

4.6 ACOSの帳票情報をPC / 端末画面から検索する

4.6.1 ACOSの業務帳票データをAzia'n Transferへ登録する

ACOSの業務で印刷している帳票データ(例えば NIP:日本語プリンタや LP:ラインプリンタから印刷している帳票)をパソコン / 端末のプリンタに印刷するために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録します。Azia'n Transfer システムへのデータ登録には専用の JCL (“AZLSET”)を利用して登録します。基本的には印刷する場合と同じです。

私有シスアウト(AVEC.PR)に “AZLIST_KS” という名前で存在する帳票ファイルを入力にして加入者 “KAIKATSU2” の 帳票 “AZLIST_K” へ格納します。

- 入力帳票情報

```
000010  ¥AZLSET
000020          INFILE=(AVEC.PR  SHARE=DIR SUBFILE=AZLIST_KS )
000030          LISTID=AZLIST_K  AKSCD=KAIKATSU2  ATRMID=PCL001
000040          LISTNM='加入者情報一覧表' ;
```

- Azia'n transfer システムへの登録用 JCL -

入力データには Azia'n transfer システムのサービスプログラムである管理情報リストを使用しました。管理情報リスト (“AZLIST”) の利用方法は後で説明しています。

4.6.2 登録した帳票情報を受信する

「Azia'n Transfer Menu」から受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」が表示されます。次に「番号==>」に「G」と入力し、受信したい帳票明細にカーソルを位置づけて実行キーを押すと「上記ファイル受信を開始しますか？ Y / N」を聞いてきますので必要項目に値を設定した後「Y」を入力すると受信が始まります。

Left Screenshot: File Search & Operation

AX50A0* 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作 頁No 1 96-08-29 09:48:58
=> G

0: 表示 1: [頁No] 改頁 2: 端末 3: 詳細 G: 受信 F: 印刷 B: 取消 K: 削除 7: 説明 9: 終了

加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者
表示対象: [] (W: 帳票ファイルのみ X: データファイルのみ △: 両方とも表示)
ファイルID: []

●受信/印刷要求時情報 → 処理実行端末 [] 要求頁 [] ~ [] 優先度 []
●対象ファイル一覧 (皿キーにて未出力のもののみ表示)

ファイルID	名称	用紙	件数	作成日時	出力先	F	状態
CHECKDT	CHECKDT		100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ		100	0607 2000			未出力
SLFILE	プログラムソース		3387	0626 2011	PCL026	5	印刷済
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RPL013	5	未出力
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RPL013	5	未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RPL013	5	未出力
TESTF1	テストファイル1		181	0826 1734	PCL001		印刷済
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1953	X000271	5	抽出完了
AZPROTFL	ライセンス情報		1	0826 2309	WS5412	5	受信完了
TEXTFILE	テキストファイル		29	0828 1532	PCL001	5	受信完了
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0828 1752	RPL001	5	印刷完了

表示すべきデータはこれで終わります。
R 入力可 **[F7/IF]**

ETOS-JX Ver1.0

Right Screenshot: Receive Confirmation

AX35A0S ファイルの受信をしますか? 96-08-29 09:51:03
=> G: 受信開始指示 7: 操作説明 8: 前画面 9: 終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID AZLIST_K 加入者情報一覧表
コメント

↓ ↓ ↓
加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者
受信範囲 A (F: 未受信のデータのみ受信する A: 受信済データも受信する)
受信後処理 T (U: 受信済にする N: 受信済にはしない)

●端末側ファイル情報
データセット名 []
デバイス [] (0~3: D0~D3 4~7: F0~F2 A~Z: DRIVEA~Z)
出力モード [] (0: 置換 A: 追加 N: 新規作成 C: 作成R置換 E: 作成OR追加)
データ長 [] (出力モード=N, C, E時に作成ファイルのデータ長を特定したい時指定)
媒体容量 (KB) [] (この値分受信すると媒体交換待ちになります)

●受信時属性情報
オプション []

処理実行端末 [] (省略すると当端末にて受信します)
アホ確認 []
データセット名を指定して下さい。
R 入力可 **[F7/IF]**

ETOS-JX Ver1.0

4.6.3 帳票情報受信中の画面とその確認

帳票情報の受信処理中は「只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい。」というメッセージが表示されます。このとき画面下中央に転送件数が表示されますので受信件数の目安にして下さい。受信処理が終了すると受信データ件数、受信バイト数が表示されますので確認した後、実行キーを押下すると初期メニュー「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。

Left Screenshot: Receive Confirmation

AX30A0C ファイルの受信が正常終了しました 96-08-29 09:56:18
=> 7: 操作説明 8: 前画面 9: 終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID AZLIST_K 加入者情報一覧表

↓ ↓ ↓ 只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい…。 ↓ ↓ ↓

加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#AZLIST.TXT
デバイス C
●属性情報
オプション

受信データ件数 11 件 受信バイト数 6276 BYTE

御確認の上実行キーを押して下さい。
R 入力可 **[F7/IF]**

ETOS-JX Ver1.0

Right Screenshot: Receive Confirmation

AX30A0C ファイルの受信が正常終了しました 96-08-29 09:56:30
=> 7: 操作説明 8: 前画面 9: 終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID AZLIST_K 加入者情報一覧表

↓ ↓ ↓
加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#AZLIST.TXT
デバイス C (0~3: D0~D3 4~7: F0~F2 A~Z: DRIVEA~Z)
出力モード C (0: 置換 A: 追加 C: 作成)
媒体容量 (KB) [] (この値分受信すると媒体交換待ちになります)

●属性情報
オプション

受信データ件数 11 件 受信バイト数 6276 BYTE

御確認の上実行キーを押して下さい。
R 入力可 **[F7/IF]**

ETOS-JX Ver1.0

初期メニューから「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」を表示してみましょう。
「番号=>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」が表示され先程受信した帳票情報の状態が確認できます。更に詳細な情報が必要な場合には「=>」にカーソルを合わせて「3」を入力し、続いて該当する明細にカーソルを合わせます。この状態で実行キーを押すと「ファイル明細情報検索＆操作」が表示されます。

3. 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面

4. ファイル明細情報検索＆操作

4.6.4 受信した情報をメモ帳やワードパット、ライトで開く

受信した情報をメモ帳やワードパット、ライト等で見てみましょう。

1. AZLISTを選択してダブルクリックする

加入者コード	加入者名称	加入者種別	チェック区分
AXSYSTEM	A Z I A ホスト側業務一般	H:ホスト側加入者	N:チェック無し
AZSYSTEM	A Z I A ホスト側業務一般	H:ホスト側加入者	N:チェック無し

加入者コード	加入者名称	加入者種別	チェック区分
EIGY001	第一営業部	*:共有加入者	N:チェック無し
●端末	→ 1-PCL009 (P98) 2-PCL010 (P98) 3-PCL013 (P98) 4-PCL014 (P98)		
	→ 6-PCL022 (P98) 7-PCL023 (P98) 8-PCL024 (P98) 9-PCL027 (P98)		
	→ 11-PCL029 (P98) 12-PCL030 (P98) 13-PCL019 (P98) 14-PCL020 (P98)		
●プリンタ	→ 1-RPL005 (PPR) 2-RPL007 (PPR) 3-RPL011 (PPR) 4-RPL012 (PPR)		
	→ 6-RPL015 (PPR)		

5 応用

Azia'n Transferには、基本操作を簡易化するためのさまざまな機能や、A C O Sとの連携を考慮した機能がいくつか用意されています。これを使えば、Azia'n Transferを一切知らない人から上級者まで段階に応じて簡単に且つ様々な要望に応えることができます。

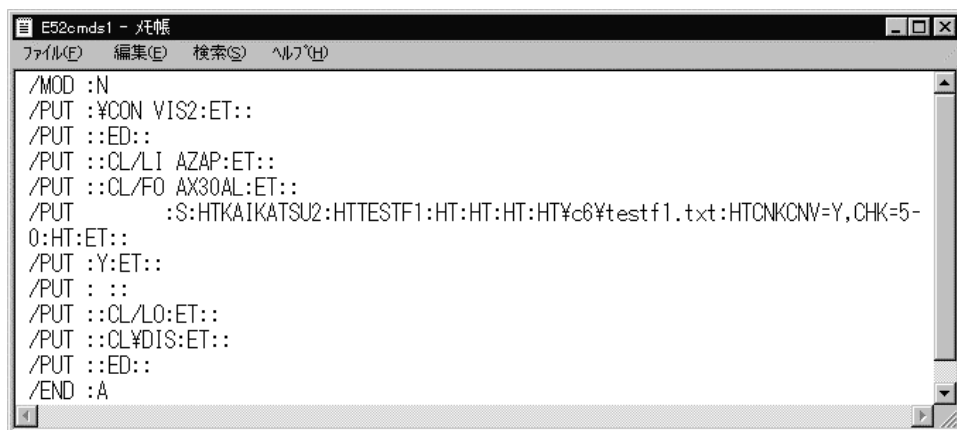
5.1 アイコンをクリックするだけで送受信処理を行う

E T O Sの簡易操作機能を用いてオンライン接続から本システムのファイル転送の実行、そして終了後のオンラインからの切断に至る一連の作業をアイコンをクリックするだけで行うことができます。従って定型的な業務に用いると効果的といえます。

5.1.1 コマンドファイルの作成

コマンドファイルとは、簡易操作の手順を記述したファイルのことで、自動実行したい処理1つにつき1個のファイル（スクリプト）を作成します。

このスクリプト作成に際してはメモ帳などを利用して登録します。また、名前の登録にも規則性があり「E52CMD」+ 任意の2文字（簡易操作実行用 ETOS リリース作成時に使用します）の名前で、「¥WNETOSディレクトリ」の下に拡張子を付けない名前で登録します。



```

/MOD :N
/PUT :¥CON VIS2:ET::
/PUT ::ED::
/PUT ::CL/LI AZAP:ET::
/PUT ::CL/FO AX30AL:ET::
/PUT :S:HTKAIKATSU2:HTTESTF1:HT:HT:HT:HT¥c6¥testf1.txt:HTCNKCNV=Y,CHK=5-
0:HT:ET::
/PUT :Y:ET::
/PUT : ::
/PUT ::CL/LO:ET::
/PUT ::CL¥DIS:ET::
/PUT ::ED::
/END :A

```

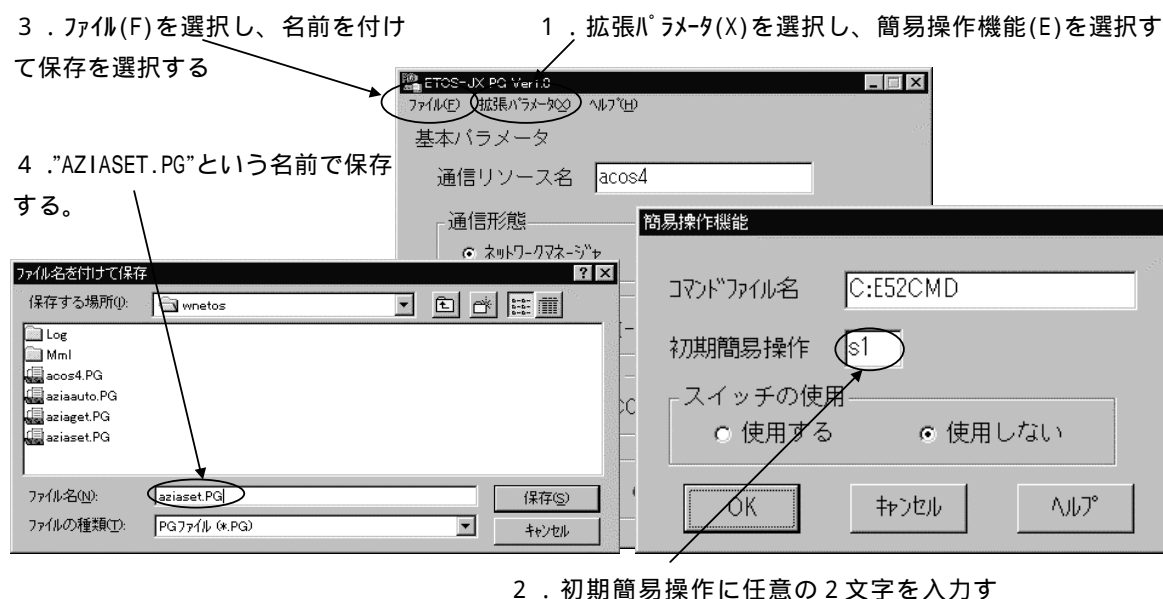
- Windows 配下の ETOS による簡易操作実行例 -

このスクリプトは VIS2 オンラインに接続し、Azia'n Transfer システムにログインした後、ファイル送信画面を表示し、“KAIKATSU2”の加入者、“TESTF1”というファイルに向けて“C”ドライブの“¥C6”ディレクトリの下にある“TESTF1.TXT”というファイルを A C O S に向けて送信します。

送信完了後 Azia'n Transfer システムからログアウトし、VIS2 オンラインを切断して終了します。

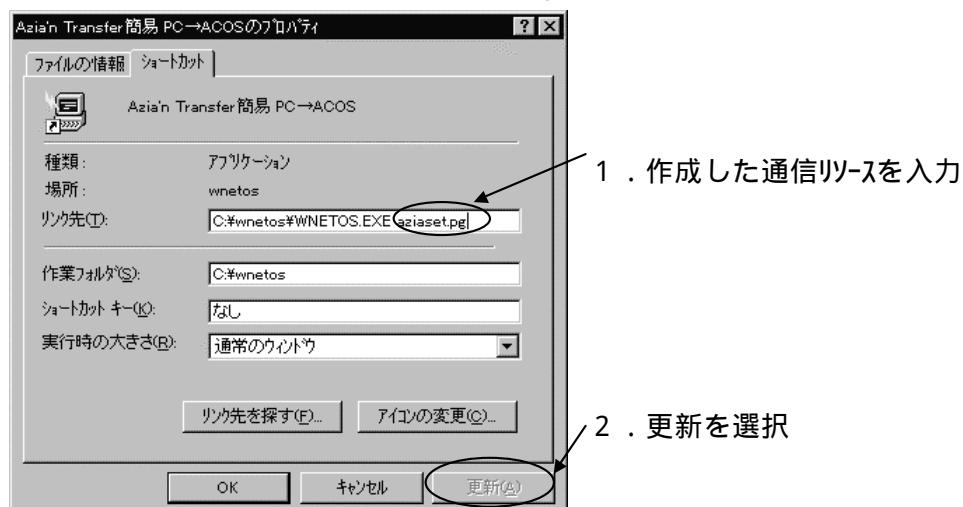
5.1.2 簡易操作実行用ETOSリソースの作成

5.1.1 で作成したスクリプトを実行するためには、専用の簡易操作実行用ETOS通信リソースが必要となります。通常は既にある通信リソースを複製し、初期簡易操作に先程作成した任意の2文字を入力して登録した方が簡単です。ここでは既にある“ACOS4.PG”という通信リソースを元に修正し“AZIASET.PG”という通信リソースを新たに作成しました。



5.1.3 実行用アイコンの作成

実行用アイコンはまず実行プログラム(“WNETOS.EXE”)のショートカットを実行したい領域に作成します。続いてリンク先(T)に先程作成した通信リソースを記述して更新します。「例」 C:¥wnetos¥WNETOS.EXE aziaset.pg」



5.1.4 アイコンをクリックして送受信処理を行う

それでは実際に、今登録しましたアイコンを使ってデータの送信処理を実行してみましょう。簡易操作処理の実行中には画面下に「自動実行中」というメッセージが表示されます。

この簡易操作の処理実行中に次のメッセージが通知されることがあります。これはコマンドファイル（スクリプト）上に誤りがある場合に表示されます。この場合には簡易操作処理は強制終了されますので、速やかにオンライン処理を終了させ、コマンドファイル（スクリプト）の修正を行ってください。

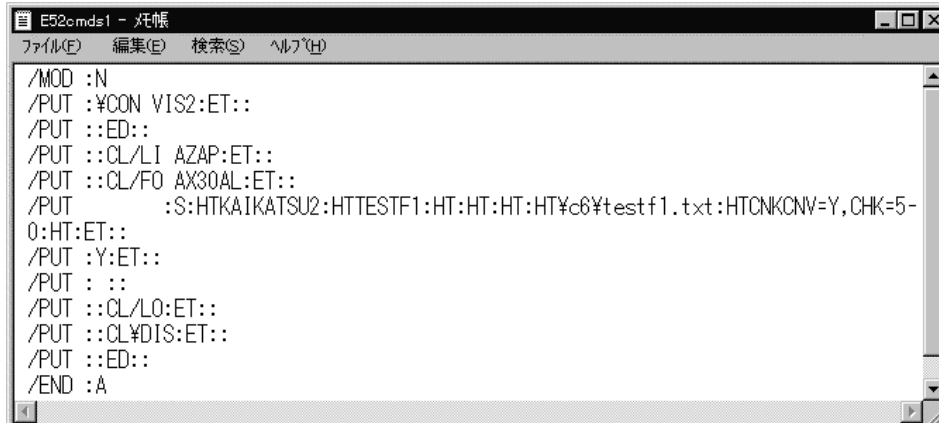


ーコマンドファイル(スクリプト)不正によるエラー通知の一例

POINT <コマンドファイル(スクリプト)>

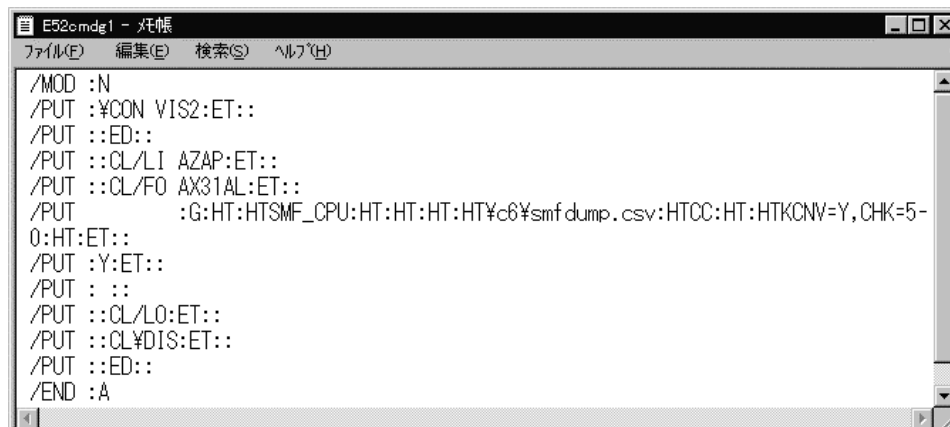
コマンドファイル(スクリプト)の詳細な記述方法や規則、ファイルの作り方などはE T O Sユーザーズマニュアルの簡易操作の章に記載されていますので、そちらをご覧ください。ここでは簡単な送信、受信、自動送受信画面表示の例を挙げています。

😊 送信の簡易操作スクリプト記述例



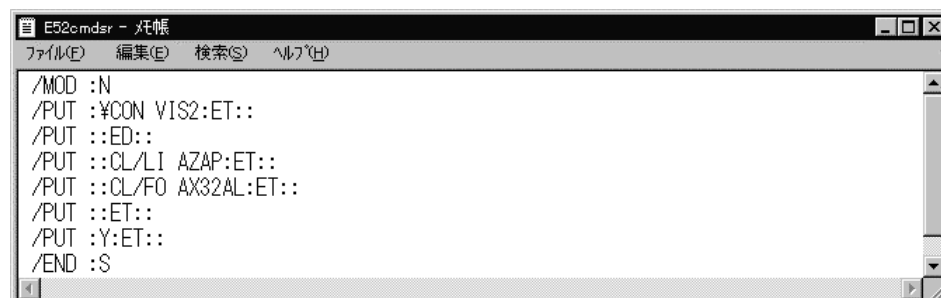
```
/MOD :N
/PUT :¥CON VIS2:ET::
/PUT ::ED::
/PUT ::CL/LI AZAP:ET::
/PUT ::CL/FO AX30AL:ET::
/PUT :S:HTKAIKATSU2:HTTESTF1:HT:HT:HT:HT¥c6¥testf1.txt:HTCNKCNV=Y,CHK=5-
0:HT:ET::
/PUT :Y:ET::
/PUT : ::
/PUT ::CL/L0:ET::
/PUT ::CL¥DIS:ET::
/PUT ::ED::
/END :A
```

😊 受信の簡易操作スクリプト記述例



```
/MOD :N
/PUT :¥CON VIS2:ET::
/PUT ::ED::
/PUT ::CL/LI AZAP:ET::
/PUT ::CL/FO AX31AL:ET::
/PUT :G:HT:HTSMF_CPU:HT:HT:HT:HT¥c6¥smf dump.csv:HTCC:HT:HTKCNV=Y,CHK=5-
0:HT:ET::
/PUT :Y:ET::
/PUT : ::
/PUT ::CL/L0:ET::
/PUT ::CL¥DIS:ET::
/PUT ::ED::
/END :A
```

😊 自動送受信画面表示までの簡易操作スクリプト記述例



```
/MOD :N
/PUT :¥CON VIS2:ET::
/PUT ::ED::
/PUT ::CL/LI AZAP:ET::
/PUT ::CL/FO AX32AL:ET::
/PUT ::ET::
/PUT :Y:ET::
/END :S
```

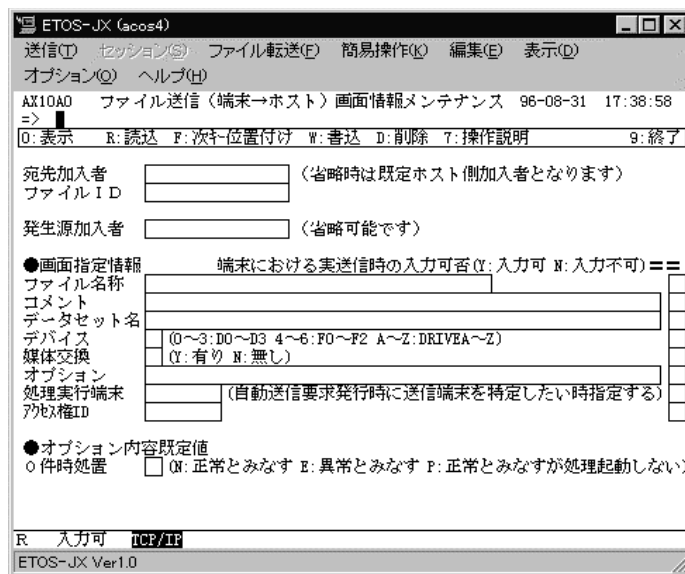
5.2 メニューから選択するだけで送信処理を行う

通常、送信や受信を行う場合に加入者やファイルID、データセット名をその都度入力しなければならず、定型的な業務として利用する場合に毎回のオペレーションが大変です。

Azia'n Transfer ではこのような面倒な入力作業を簡素化するため、予め入力情報をカタログ情報として登録しておき、今まで入力しなければならなかった面倒なオペレーション作業を、メニュー画面から選択しただけで送信を行う様にすることができます。

5.2.1 ファイル送信時画面情報を表示する

「Azia'n Transfer Menu」からファイル送信時画面情報を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「82」を入力し実行キーを押すと「ファイル送信（端末 ホスト）画面情報メンテナンス画面」が表示されます。



5.2.2 ファイル送信画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する

ファイル送信画面で実際に送信している時と同じ内容を入力します。入力後、内容を登録するためカーソルを「==>」に位置づけて”W”を入力し、実行キーを押すとカタログ情報として登録されます。画面下に「ファイル情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

メニュー画面で設定する KEY 項目

メニュー画面で設定する KEY 項目

ETOS-JX (acos4)

送信(D) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(O) 編集(E) 表示(O)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX10A0* ファイル送信(端末→ホスト)画面情報メンテナンス 96-09-02 10:11:09

0: 表示 R: 読込 F: 次へ 位置付け W: 書込 D: 削除 7: 操作説明 9: 終了

宛先加入者 KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
ファイルID TEXTFILE テキストファイル

発生源加入者

●画面指定情報 端末における実送信時の入力可否(Y: 入力可 N: 入力不可) ==>

ファイル名称
コメント
データセット名 #C6#TEXTFILE
デバイス C (0~3: D0~D3 4~6: F0~F2 A~Z: DRIVEA~Z)
媒体交換 N (Y: 有り N: 無し)
オプション CHK=50
処理実行端末 (自動送信要求発行時に送信端末を特定したい時指定する)
7/24権ID

●オプション内容既定値
0 件時処置 N (N: 正常とみなす E: 異常とみなす F: 正常とみなすが処理起動しない)

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

入力可、不可を Y/N で設定できる

この画面でのキー項目は「宛先加入者」と「ファイルID」です。メニュー画面情報メンテナンスへの登録では、このキー項目を設定したファイル送信画面情報（カタログ）を表示しますので忘れないで下さい。

また、ファイル送信画面情報メンテナンスでは必要以上の入力をさせないように、入力可、入力不可の項目を設定することが出来ます。このため定型的な業務でも、まれに出力先の変更などを伴う様な場合を想定し、データセット名やデバイスなどは入力可能項目にすると良いでしょう。

5.2.3 メニュー画面情報メンテナンス画面を表示する

ここでは「Azia'n Transfer Menu」に先程作成したカタログ情報を呼び出すメニュー項目を登録してみましょう。「Azia'n Transfer Menu」の「番号=>」に「M」と入力し、パスワードを入力して実行キーを押すとメニュー画面情報メンテナンス画面が表示されます。パスワードの値はシステム管理者にお問い合わせ下さい。

ETOS-JX (acos4) 送信(C) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D) オプション(O) ヘルプ(H) VMRO50 Azia'n Transfer Menu 96-09-02 11:01:26 番号=> M

ETOS-JX (acos4) 送信(C) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D) オプション(O) ヘルプ(H) VMRO60 *** VISメニュー情報メンテナンス 頁No 2 96-09-02 10:54:37

処理=> R:読込 I:[頁No]:改頁 W:書込 I,DL,DD,K,M,P:編集 L:確認 D:削除 9:終了

メニューID AFINIT AP名 AZAP フェア区分 見出し 見出し色 補助メッセージ 初期メッセージ

Azia'n Transfer Menu

No	処 理 名 称	C	KB	処 理 I D	処理引継パラメータ
30	テストファイル1の送信	Y	C	AZSEND	TESTF1
31	テストファイル3の送信	Y	C	AZSEND	TESTF3
32	テストファイル2の受信	Y	C	AZRECV	TESTF1
33	担当別日計データの送信	Y	C	AZSEND	NIP0002, EIGY001
34	担当別日計データの受信	Y	C	AZRECV	NIP0002, EIGY001
35	商品別実績の送信	Y	C	AZSEND	NIP0003, EIGY001
41	ILセーブデータの送信	W	C	AZSEND	ILSV

●補足説明
 <C>:色> W:白 G:緑 C:シアン B:青 R:赤 Y:黄 M:マゼンタ
 <KB:区分> M:メニュー L:画面 J:JOB <処理ID> M:メニューID L:MFDL名 J:JOB名

R 入力可 TCP/IP ETOS-JX Ver1.0

5.2.4 メニュー画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する

メニューNo.42 番を新たに作成します。ここで、先程登録したカタログ情報と関連付けるために引継ぎパラメータにキー情報を入力します。引継ぎパラメータの記述方法は「ファイルID,宛先加入者」と入力します。情報の入力後、「=>」の位置で「W」を入力して実行を押します。画面下に「更新が正常終了しました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

ETOS-JX (acos4) 送信(C) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D) オプション(O) ヘルプ(H) VMRO60 *** VISメニュー情報メンテナンス 頁No 2 96-09-02 10:54:37

処理=> W R:読込 I:[頁No]:改頁 W:書込 I,DL,DD,K,M,P:編集 L:確認 D:削除 9:終了

メニューID AFINIT AP名 AZAP フェア区分 見出し 見出し色 補助メッセージ 初期メッセージ

Azia'n Transfer Menu

No	処 理 名 称	C	KB	処 理 I D	処理引継パラメータ
30	テストファイル1の送信	Y	C	AZSEND	TESTF1
31	テストファイル3の送信	Y	C	AZSEND	TESTF3
32	テストファイル2の受信	Y	C	AZRECV	TESTF1
33	担当別日計データの送信	Y	C	AZSEND	NIP0002, EIGY001
34	担当別日計データの受信	Y	C	AZRECV	NIP0002, EIGY001
35	商品別実績の送信	Y	C	AZSEND	NIP0003, EIGY001
41	ILセーブデータの送信	W	C	AZSEND	ILSV
42	テキストファイル送信	W	C	AZSEND	TEXTFILE, KAIKATSU2

●補足説明
 <C>:色> W:白 G:緑 C:シアン B:青 R:赤 Y:黄 M:マゼンタ
 <KB:区分> M:メニュー L:画面 J:JOB <処理ID> M:メニューID L:MFDL名 J:JOB名

R 入力可 TCP/IP ETOS-JX Ver1.0

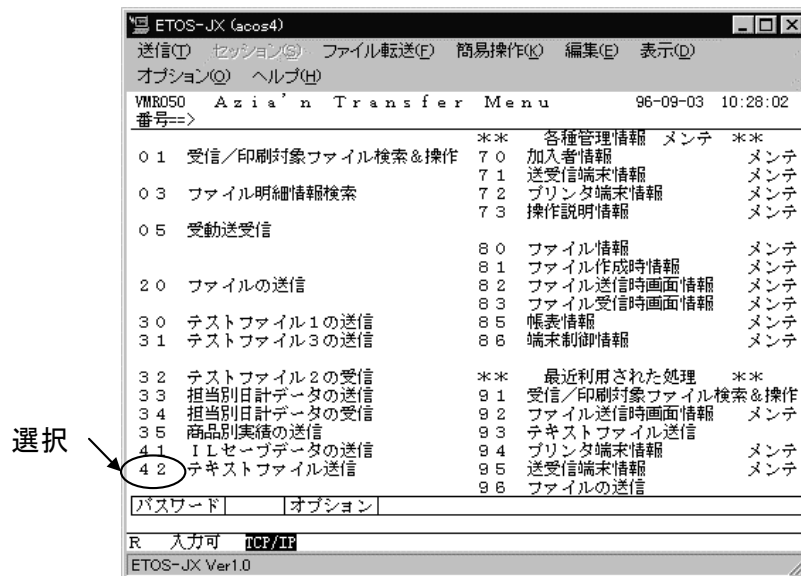
“C”: 固定

“AZSEND”: 固定

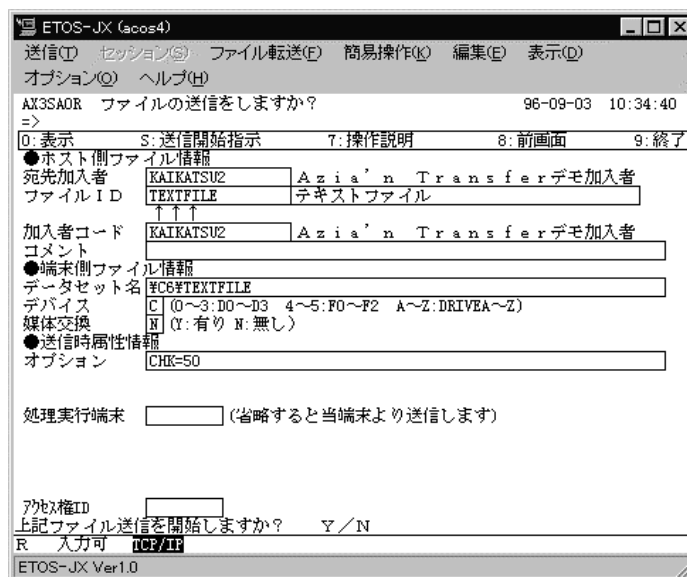
カタログキー情報を入力する

5.2.5 実際にメニューから選択して送信処理を行う

それでは実際に、今まで登録した内容でメニューから選択して送信処理を行ってみましょう。ここではメニューNo.42 番に「テキストファイル送信」というメニューで登録しましたので”42”を選択して実行キーを押します。



すると予めカタログ情報として登録しておいた内容が表示され、送信開始の有無を聞いてきます。実際に送信処理を行う場合には指示に従い送信して下さい。送信しない場合には”N”を選択すると「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。



5.3 メニューから選択するだけで受信処理を行う

通常、送信や受信を行う場合に加入者やファイルID、データセット名、をその都度入力しなければならず、定型的な業務として利用する場合に毎回のオペレーションが大変です。

Azia'n Transfer ではこのような面倒な入力作業を簡素化するため、予め入力情報をカタログ情報として登録しておき、今まで入力しなければならなかった面倒なオペレーション作業を、メニュー画面から選択しただけで受信を行う様にすることができます。

5.3.1 ファイル受信時画面情報を表示する

「Azia'n Transfer Menu」からファイル受信時画面情報を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「83」を入力し実行キーを押すと「ファイル受信（ホスト端末）画面情報メンテナンス画面」が表示されます。

ETOS-JX (acos4)

送信(T) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(K) 編集(E) 表示(D)

オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AD ファイル受信（ホスト→端末）画面情報メンテナンス 96-09-03 11:02:33

=>

0: 表示 R: 読込 F: 次へ位置付け W: 書込 D: 削除 T: 操作説明 9: 終了

発生源加入者 (既定値は「*」<加入者不特定>です)

ファイルID

宛先加入者 (省略可能です)

●画面指定情報 端末における実受信時の入力可否 (Y: 入力可 N: 入力不可) ==

受信範囲 ☐ (P: 未受信のデータのみ受信する A: 受信済データも受信する)

受信後処理 ☐ (Y: 受信済にする N: 受信済にしない)

データセット名

デバイス ☐ (0~3: D0~D3 4~7: F0~F2 A~Z: DRIVEA~Z)

出力モード ☐ (0: 置換 A: 追加 C: 作成)

データ長 ☐ (出力モード=C 時に作成ファイルのデータ長を特定したい時指定する)

媒体容量 (KB) ☐ (この値分受信すると媒体交換待ちになる)

オプション ☐

処理実行端末 ☐ (自動受信要求発行時に受信端末を特定したい時指定する)

アクセスID

●オプション内容既定値

最大受信件数 (1回で受信可能な件数)

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

5.3.2 ファイル受信画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する

ファイル受信画面で実際に受信している時と同じ内容を入力します。入力後、内容を登録するためカーソルを「==>」に位置づけて”W”を入力し、実行キーを押すとカタログ情報として登録されます。画面下に「ファイル情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

メニュー画面で設定する KEY 項目

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(O)

オプション(O) ヘルプ(H)

AX10A0* ファイル受信 (ホスト→端末) 画面情報メンテナンス 96-09-03 11:08:21

⇒ W

0: 表示 R: 読込 F: 次行位置付け W: 書込 D: 削除 T: 操作説明 9: 終了

発生源加入者 *

ファイルID TEXTFILE テキストファイル

宛先加入者

●画面指定情報 端末における実受信時の入力可否 (Y: 入力可 N: 入力不可) ==>

受信範囲	P (P: 未受信のデータのみ受信する A: 受信済データも受信する)	N
受信後処理	Y (Y: 受信済にする N: 受信済にしない)	N
データセット名	#C6*BASE.TXT	Y
デバイス	C (0~3: D0~D3 4~7: F0~F2 A~Z, DRIVEA~Z)	Y
出力モード	C (0: 置換 A: 追加 C: 作成)	Y
データ長	(出力モード=C 時に作成ファイルのデータ長を特定したい時指定する)	N
媒体容量(KB)	(この値分受信すると媒体交換待ちになる)	N
オプション		Y
処理実行端末	(自動受信要求発行時に受信端末を特定したい時指定する)	N
アクセスID		N

●オプション内容既定値 (1回で受信可能な件数)

最大受信件数

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

入力可、不可を Y/N で設定できる

この画面でのキー項目は「発生源加入者」と「ファイルID」です。メニュー画面情報メンテナンスへの登録では、このキー項目を設定したファイル受信画面情報 (カタログ) を表示しますので忘れないで下さい。

また、ファイル受信画面情報メンテナンスでは必要以上の入力をさせないように、入力可、入力不可の項目を設定することが出来ます。このため定型的な業務でも、まれに出力先の変更などを伴う様な場合を想定し、データセット名やデバイスなどは入力可能項目にすると良いでしょう。

5.3.3 メニュー画面情報メンテナンス画面を表示する

ここでは「Azia'n Transfer Menu」に先程作成したカタログ情報を呼び出すメニュー項目を登録してみましよう。「Azia'n Transfer Menu」の「番号=>」に「M」と入力し、パスワードを入力して実行キーを押すとメニュー画面情報メンテナンス画面が表示されます。パスワードの値はシステム管理者にお問い合わせ下さい。

ETOS-JX (acos4) 送信(D) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D) オプション(O) ヘルプ(H) VMRO50 Azia'n Transfer Menu 96-09-02 11:01:26 番号=> M

ETOS-JX (acos4) 送信(D) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D) オプション(O) ヘルプ(H) VMRO60 *** VISメニュー情報メンテナンス 頁No 2 96-09-02 10:54:37

処理=> R:読込 I:[頁No]:改頁 W:書込 I,DL,DD,K,M,P:編集 L:確認 D:削除 9:終了

メニューID APINIT AP名 AZAP フェック区分 見出し Azia'n Transfer Menu 見出し色 補助メッセージ 補助メッセージ色

No	処 理 名 称	C	KB	処 理	I	D	処理引継パラメータ
30	テストファイル1の送信	Y	C	AZSEND			TESTF1
31	テストファイル3の送信	Y	C	AZSEND			TESTF3
32	テストファイル2の受信	Y	C	AZRECV			TESTF1
33	担当別日計データの送信	Y	C	AZSEND			NIP0002, EIGY001
34	担当別日計データの受信	Y	C	AZRECV			NIP0002, EIGY001
35	商品別実績の送信	Y	C	AZSEND			NIP0003, EIGY001
41	ILセーブデータの送信	W	C	AZSEND			ILSV

●補足説明
C:色> W:白 G:緑 C:シアン B:青 R:赤 Y:黄 M:マゼンタ
<KB:区分> M:メニュー L:画面 J:JOB <処理 I D> M:メニューID L:MPDL名 J:JOB名

R 入力可 TCP/IP ETOS-JX Ver1.0

5.3.4 メニュー画面情報メンテナンス画面からカタログ情報を登録する

メニューNo.42 番を新たに作成します。ここで、先程登録したカタログ情報と関連付けるために引継ぎパラメータにキー情報を入力します。引継ぎパラメータの記述方法は「ファイルID, 発生源加入者」と入力します。情報の入力後、「=>」の位置で「W」を入力して実行キーを押します。画面下に「更新が正常終了しました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

ETOS-JX (acos4) 送信(D) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D) オプション(O) ヘルプ(H) VMRO60 *** VISメニュー情報メンテナンス 頁No 2 96-09-03 11:16:39

処理=> W R:読込 I:[頁No]:改頁 W:書込 I,DL,DD,K,M,P:編集 L:確認 D:削除 9:終了

メニューID APINIT AP名 AZAP フェック区分 見出し Azia'n Transfer Menu 見出し色 補助メッセージ 補助メッセージ色

No	処 理 名 称	C	KB	処 理	I	D	処理引継パラメータ
30	テストファイル1の送信	Y	C	AZSEND			TESTF1
31	テストファイル3の送信	Y	C	AZSEND			TESTF3
32	テストファイル2の受信	Y	C	AZRECV			TESTF1
33	担当別日計データの送信	Y	C	AZSEND			NIP0002, EIGY001
34	担当別日計データの受信	Y	C	AZRECV			NIP0002, EIGY001
35	商品別実績の送信	Y	C	AZSEND			NIP0003, EIGY001
41	ILセーブデータの送信	W	C	AZSEND			ILSV
42	テキストファイル受信	W	C	AZRECV			TEXTFILE

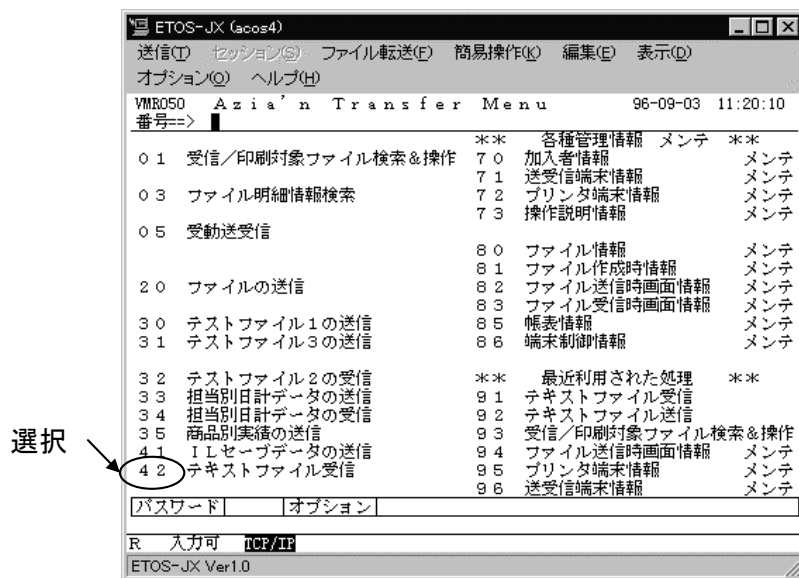
●補足説明
C:色> W:白 G:緑 C:シアン B:青 R:赤 Y:黄 M:マゼンタ
<KB:区分> M:メニュー L:画面 J:JOB <処理 I D> M:メニューID L:MPDL名 J:JOB名

R 入力可 TCP/IP ETOS-JX Ver1.0

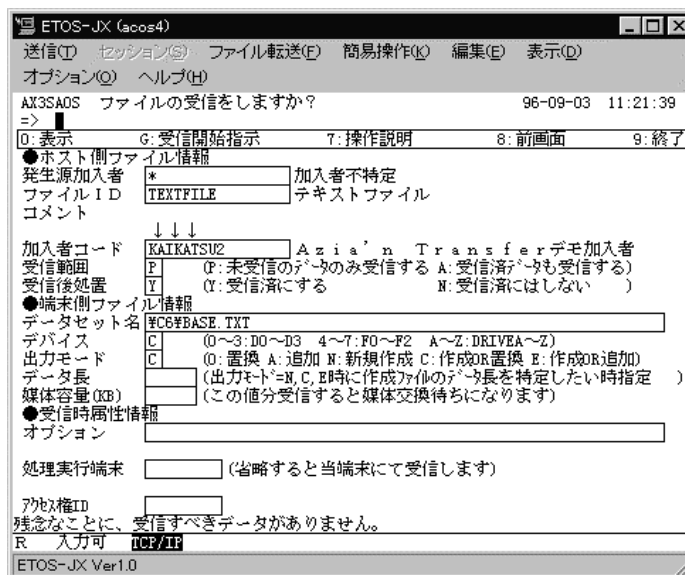
“C”: 固定
“AZRECV”: 固定
カタログキー情報を入力する

5.3.5 実際にメニューから選択して受信処理を行う

それでは実際に、今まで登録した内容でメニューから選択して受信処理を行ってみましょう。ここではメニューNo.42 番に「テキストファイル受信」というメニューで登録しましたので”42”を選択して実行キーを押します。



予めカタログ情報として登録しておいた内容が表示され、受信開始の有無を聞いてきます。実際に受信処理を行う場合には指示に従い送信して下さい。受信しない場合には”N”を選択すると「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。



5.4 ファイル送信完了と同時にバッチ処理を起動する

Azia'n Transfer では、ホスト業務処理との連携を意識してPC又は端末からのデータ集信と同時に、ホスト側のバッチ処理を起動する機能があります。この場合でも、集信処理の正常終了時に起動する処理、異常終了時に起動する処理と、業務処理の運用を考慮してシステムに組み込むと、より効果的なサービスを得る事が出来ます。

5.4.1 ファイル作成時情報を表示する。

「Azia'n Transfer Menu」からファイル作成時情報を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて”81”を入力し実行キーを押すと「ファイル作成（格納 集信）時情報メンテナンス画面」が表示されます。

ETOS-JX (acos4)

送信(T) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AO ファイル作成(格納/集信)時情報メンテナンス 96-09-03 11:47:05
=>

0:表示 R:読込 F:次へ位置付け W:書込 D:削除 7:操作説明 9:終了

宛先加入者 (省略時は既定ホスト側加入者となります)
ファイルID

発生源加入者 (省略可能です)

●格納/集信正常終了時起動処理情報
処理区分 (J0-J9:通常JOB起動 VD:VD通知 等)
処理ID (処理区分J0-J9の時JCLがファイル名 VDの時VDID 等)
処理名

●集信異常終了時起動処理情報
処理区分 (J0-J9:通常JOB起動 VD:VD通知 等)
処理ID (処理区分J0-J9の時JCLがファイル名 VDの時VDID 等)
処理名

R 入力可 TCP/IP

ETOS-JX Ver1.0

5.4.2 ファイル作成時情報メンテナンス画面から起動処理情報を登録する

ファイル送信処理後に起動する起動処理情報を入力します。入力後、内容を登録するためカーソルを「==>」に位置づけて「W」を入力し、実行キーを押すと起動処理情報として登録されます。画面下に「ファイル情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

処理起動の規約となる KEY 項

ETOS-JX (acos4)

送信(T) セッション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX10AD ファイル作成(格納/集信)時情報メンテナンス 96-10-25 16:09:57

=> W

0:表示 R:読込 F:次へ位置付け W:書込 D:削除 Y:操作説明 9:終了

宛先加入者 KAIKATSU2 (省略時は既定ホスト側加入者となります)
ファイルID TEXTFILE
発生源加入者 (省略可能です)

●格納/集信正常終了時起動処理情報
処理区分 J0 (J0-J9:通常JOB起動 VD:VD通知 等)
処理ID AZ_AZFGET (処理区分J0-J9の時JCL名/ファイル名 VDの時VDID 等)
処理名

●集信異常終了時起動処理情報
処理区分 (J0-J9:通常JOB起動 VD:VD通知 等)
処理ID (処理区分J0-J9の時JCL名/ファイル名 VDの時VDID 等)
処理名

R 入力可 TCF/IP
ETOS-JX Ver1.0

この画面でのキー項目は「宛先加入者」と「ファイルID」です。送信処理の完了後、このキー項目を設定したファイル作成時情報（カタログ）を元に次のアクションを行います。

また、ファイル作成時情報メンテナンスでは集信正常終了時以外に、集信異常終了時にも次のアクションを起こすことが出来ます。このため業務処理側で異常終了通知や強制返送などを行うと良いでしょう。

尚、Azia'n Transfer では起動後の処理（JOB）監視は行っておりません。処理の監視が必要な場合には、「AVECS システム」の「VIS ジョブ管理システム」を併用してお使い頂きますと、より効果的なサービスをご提供致します。

処理区分：システムセットアップ時に予め既定値情報で割り当てられているライブラリをJ0～J9の番号で指示します。「VIS ジョブ管理システム」を併用する場合にはVJと指示します。

処理ID：JCL名又はJOBIDを指示します。

POINT <AVECSシステム>

☺ AVECS VISジョブ管理システムとは

このVISJOB管理システムとは、システム全体のジョブ監視と小規模システム～大規模システムにおけるシステム構築時の負担（工数）軽減にあります。

従来、ジョブの監視はセンターコンソール又はサブコンソールのみで行われており、実行されているジョブの所在が担当者以外でなければわからないという欠点を持っていました。また、ある処理から異なる別の処理を起動させるシステムを構築した場合、システム構築後に変更が生じるとアプリケーションの修正が付いて回りました。

このようにシステム全体のジョブ監視機能を充実させ導入の容易性や変更を容易に行えるシステム。それがこのVISJOB管理システムです。

VISJOB管理ではこのほかにもオンラインVISからのジョブ起動のサポートや、起動元から起動先へのパラメータ引継ぎインタ・フェースの提供など、様々な業務インタ・フェースをご提供しています。

・マネージャーの精神的負担の軽減

- 1．導入～保守が容易である（導入・メンテナンス工数の削減）。
- 2．実行履歴・処理時間などアプリケーション全体での監視機能を充実。

・開発担当者・オペレータの作業負担の軽減

- 1．実行状況及び結果の把握が容易になる（画面からの確認）。
- 2．VISからのバッチJOB起動が容易に且つ汎用的に利用することが可能。
- 3．バッチ，VISバッチ，O/L，AVECS内の他システム間，それぞれの充実したインタフェース。
- 4．異常終了などによるトラブル対応での再実行が迅速に行える（リカバリー・レスポンスの向上）。

5.5 ファイル毎に状態を検索する

今までご覧頂いた転送や印刷状況の確認には「受信 / 印刷対象ファイル検索 & 操作」を見てまいりました。これは基本的に参加者単位での表示となります。ここではシステムの管理上からファイル単位での検索を実現し、必要なファイルがどの参加者に散在しているのかを検索でき、状態に対する対処がどこからでも対処することが出来ます。（受信 / 印刷対象ファイル検索 & 操作画面でも参加者がわかる管理者であれば表示して対処することが出来ます）

5.5.1 ファイル別明細状況検索画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」からファイル別明細状況検索画面を表示してみましょう。

「番号==>」にカーソルを合わせて”3”を入力し実行キーを押すと「ファイル別明細状況検索画面」が表示されます。

[illegible]

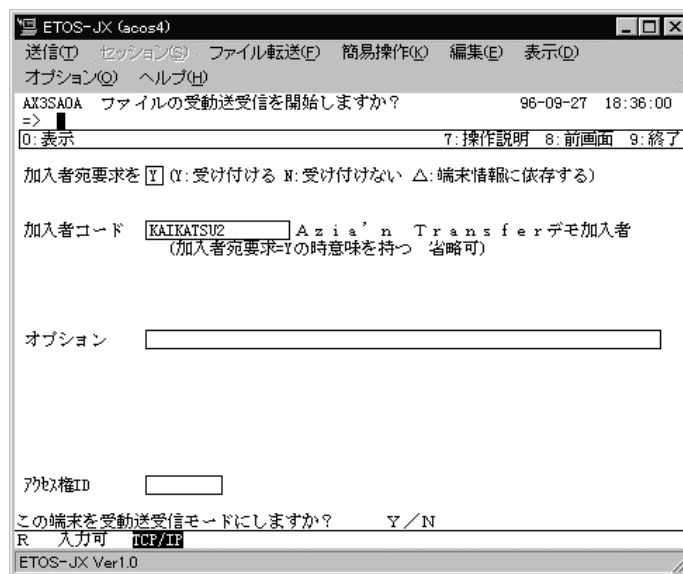
検索対象のファイルID又は帳票IDを入力後、「=>」で”R”を入力後実行キーを押すと転送／印刷している情報を検索することが出来ます。また、宛先や発生源を入力して更に絞り込み、検索表示することが出来ます。

5.6 ホスト主導型での自動送受信

Azia'n Transfer の世界ではA C O Sを使ったクライアント・サーバーシステムの構築のために、現在のホスト側に立つ情報部門の方々がA C O Sをサーバーマシンとして利用して頂けるように（いわばサーバー管理者のために）様々な手段を用意しています。この手段を利用することによりP Cやサーバーマシンの業務データ管理を容易に行うことが出来ます。それでは受動送受信モードを利用したホスト主導型の受動送受信をご紹介します。

5.6.1 受動送受信画面を表示する

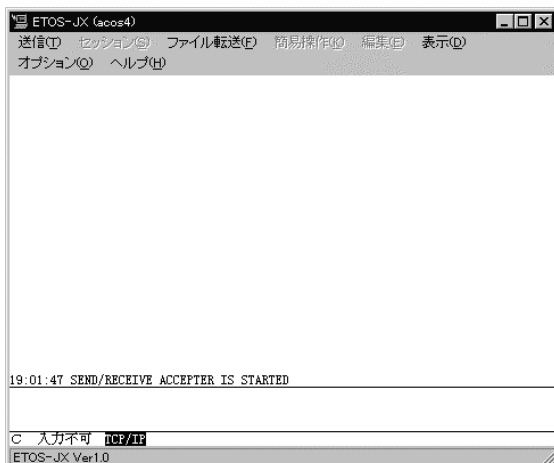
「Azia'n Transfer Menu」から受動送受信画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて”5”を入力し実行キーを押すと「受動送受信モード切り替え確認画面」が表示されます。



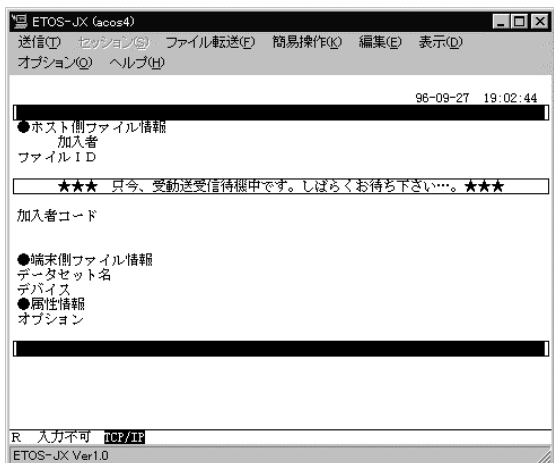
- 受動送受信モード切り替え確認画面

この「受動送受信モード切り替え確認画面」から”Y”を入力して実行キーを押すと次頁の「受動送受信画面 1」が表示され、ホストからの指示待ちの状態となります。

尚、利用するエミュレータの種類によっては「受動送受信画面 1」が利用できない場合があります。この場合には「受動送受信モード切り替え確認画面」のオプション項目に 'FORM' と入力してから Y”を入力し、実行キーを押すと次頁の「受動送受信画面 2」が表示され、ホストからの指示待ちの状態となります。 1, 2 両画面共に同等の機能を果たします。（「受動送受信画面 1」が利用できない理由の1つとして、そのエミュレータ機能に動作モードの COM1-2(KB/PR) がサポートされていない場合が考えられます）



- 受動送受信画面 1 -

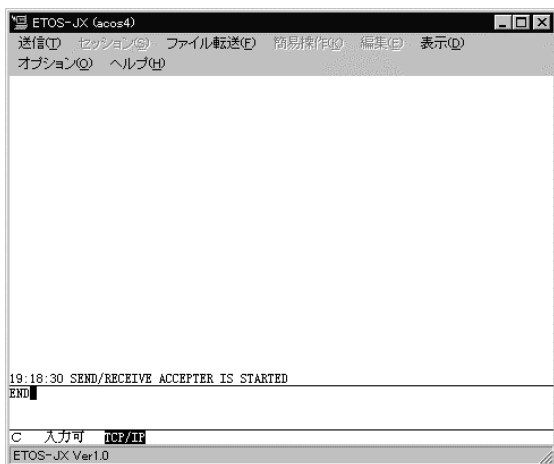


- 受動送受信画面 2

5.6.2 受動送受信画面を終了する

両受動送受信画面ではカーソルが表示されません。通常（終了させる以外）ではこの状態で自動送受信行為がホストからの指示により行われます。尚、終了させる場合には終了コマンドの発行が必要となります。このため “全消去” キーを入力してカーソルを表示してから終了コマンドを発行します。終了コマンドは 'END' と入力し、実行キーを押すと「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。

尚、「受動送受信画面 2」の場合には“全消去”キーを2回押すと終了コマンドが入力出来るようになります。「受動送受信画面 1」の場合には“全消去”キーを1回押すと終了コマンドが入力できるようになります。



- 受動送受信画面 1 の終了 -



- 受動送受信画面 2 の終了 -

5.6.3 ホストで作成されたデータを即、端末へ自動配信する(¥AZFSET応用)

バッチ処理で作成されたデータを Azia'n Transfer システムに登録し、そのまま受動送受信モードを介して P C 端末及びサーバーマシンへ自動配信します。この自動配信するためには「4.4.1 A C O S の業務データを Azia'n Transfer へ登録する」でご紹介した(“¥AZFSET”)の登録 J C L 例に次のパラメータを追加ことにより、Azia'n Transfer システムへの登録と同時に受動送受信モードの端末へ自動配信処理が開始されます。

000010 ¥AZFSET ~ OUTREQ=YES ;

尚、受信端末が受動送受信モードへ切り替えられていない場合には、状態が「受信要求中」となり、配信先の端末(J C L で指定された“ATRMID”の端末)が受動送受信モードに切り替わるまで待機します。配信先の端末が受動送受信モードに切り替わると状態が「受信中」「受信完了」へと変化します。

ファイルID	名 称	用 途	件 数	作成日時	出力先	F	状 態
CHECKDT	C H E C K D T			100 0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ			100 0607 2000	PCL001	5	受信完了
AZLIST K	加入者情報一覧表	専用		11 0810 1715	RPLD13	5	未出力
AZLIST F	ファイル明細情報一覧表	専用		7 0810 1716	RPLD13	5	未出力
AZLIST K	加入者情報一覧表	専用		11 0810 1722	RPLD13	5	未出力
AZPROTFL	ライセンス情報			1 0917 2344	WS5402	5	受信完了
SYSFARM	A C O S 4 システムパラメ			17 0924 1051	PCL001	5	受信完了
RECT0110	R E C T O 1 1 0	汎用		2 0927 1323	WFS404	5	印刷完了
SOURCE	端末ソースデータ			100 0927 1614		5	未出力
SOURCE	端末ソースデータ			29 0927 2006	PCL001	5	受信要求中

- 受信要求中の画面

```

20:10:20 SEND/RECEIVE ACCEPTER IS STARTED
20:10:24 DATA FILE RECEIPE IS STARTED
20:10:24 FROM= (FLID=SOURCE, AKSCD=KAIKATSU2, HKSCD=AZSYSTEM) TO= (C:¥C6¥B00K3. CSV)
20:10:28 DATA FILE RECEIPE IS TERMINATED
20:10:28 COUNT=29 BYTE=2037 STATUS=DONE
  
```

- 受動送受信画面 1 の動作 -

96-09-28 11:06:58

●ホスト側ファイル情報
 発生源加入者 AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
 ファイルID SOURCE 端末ソースデータ

↓↓↓ 只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい…。↓↓↓

加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transfer デモ加入者

●端末側ファイル情報
 データセット名 ¥C6¥B00K3. CSV
 デバイス C
 ●属性情報
 オプション

R 入力不可 TCP/IP 000014
 ETOS-JX Ver1.0

- 受動送受信画面 2 の動作 -

5.6.5 予めAzia'n Transferに登録したデータに対しての自動配信要求(画面)

この処理では事前にバッチ処理で作成され、Azia'n Transfer システムに既に登録されているデータに対して画面から配信要求指示を発行します。この要求を受けて受動送受信モードを介しPC端末及びサーバーへの自動配信を行います。この自動配信をするためには「4.4.2 テキストデータをパソコンに受信する」でご紹介したファイル受信確認画面の処理実行端末を入力することにより、選択したファイルを対象に画面からAzia'n Transfer システムへの配信要求指示を発行し、これを契機に受動送受信モードの端末へ自動配信処理を開始します。それでは配信要求を発行する画面例を見てみましょう。

受動送受信モードの端末 ID を入力する

The left screenshot shows the 'File Transfer' tab with a table of files and a 'Batch Processing' section. The right screenshot shows the 'Batch Processing' section with a 'Batch Processing' button and a 'Batch Processing' button.

ファイルID	名称	用紙	枚数	作成日時	出力先	F	状態
CHECKDT	CHECKDT		100	0607 1058			未出力
AZLIST K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RFLD13	5	未出力
AZLIST F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RFLD13	5	未出力
AZLIST K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RFLD13	5	未出力
SOURCE	端末ソースデータ		29	0828 1127	PCL001	5	未出力
TEXTFILE	テキストファイル		29	0828 1208	PCL001	5	未出力

1.画面から処理実行端末を指示する

2.他端末での自動配信要求確

The left screenshot shows the 'Batch Processing' section with a 'Batch Processing' button and a 'Batch Processing' button. The right screenshot shows the 'Batch Processing' section with a 'Batch Processing' button and a 'Batch Processing' button.

3.受信要求確認画面

4.受信要求確認後の画面

これは Azia'n Transfer システムの 加入者 "KAIKATSU2", ファイル "TEXTFILE" に格納されているデータに対して、端末 "PCL002" への自動配信要求を発行します。

[illegible]

- 配信要求後の状態

53

5.6.6 予めパソコンに存在するデータに対しての自動集信要求(JCL)

この処理ではP C又はサーバー上に存在するデータに対して、Azia'n Transfer システムへJ C Lで集信要求指示を発行します。この要求を受けて受動送受信モードを介しP C端末及びサーバーへの自動集信を行います。この自動集信をするためにはP C又はサーバー上に存在するデータを対象に、(“¥AZRECV”)のJ C Lで Azia'n Transfer システムへの集信要求指示を発行し、これを契機に受動送受信モードの端末から自動集信処理を開始します。それでは集信要求を発行するJ C L例を見てみましょう。

これは端末“PCL001”に格納されているデータファイルを Azia'n Transfer システムの 加入者 “KAIKATSU2”, ファイル “TEXTFILE” に格納するためにの自動集信要求を発行します。

000010	¥AZRECV	FLID=TEXTFILE	AKSCD=KAIKATSU2
000020		RTRMID=PCL001	HKSCD=KAIKATSU2
000030		DSNM=/C6/BASE2.CSV	DV=C;

- 送信端末から Azia'n transfer システムへの自動集信要求発行用 JCL -

尚、送信端末が受動送受信モードへ切り替えられていない場合には、状態が「送信要求中」となり、送信元の端末(J C Lで指定された“RTRMID”の端末)が受動送受信モードに切り替わるまで待機します。送信元の端末が受動送受信モードに切り替わると状態が「送信中」「未出力」へと変化します。

- 集信要求後の状態

- 受動送受信モードでの集信直後の状態 -

受動送受信画面 1, 2 の動作は 5.6.3 と同じです。

5.6.7 予めパソコンに存在するデータに対しての自動集信要求(画面)

この処理ではP C又はサーバー上に存在するデータに対して、Azia'n Transfer システムへ画面から集信要求指示を発行します。この要求を受けて受動送受信モードを介しP C端末及びサーバーへの自動集信を行います。この自動集信をするためにはP C又はサーバー上に存在するデータを対象に、画面から Azia'n Transfer システムへの集信要求指示を発行し、これを契機に受動送受信モードの端末から自動集信処理を開始します。それでは集信要求を発行する画面例を見てみましょう。

1.自動集信指示画面

2.自動送信要求確認画

3.要求登録後の確認画

4.送信要求登録後の状

これは、端末“PCL001”に格納されているファイルを Azia'n Transfer システムの加入者“KAIKATSU2”，ファイル“TEXTFILE”に格納するために自動集信要求を発行します。送信画面の利用方法は「4.3.2 テキストデータを ACOS に送信する」を参照して下さい。

尚、送信元端末が受動送受信モードへ切り替えられていない場合には、状態が「送信要求中」となり、送信元の端末(画面で指定された処理実行端末)が受動送受信モードに切り替わるまで待機します。送信元の端末が受動送受信モードに切り替わると状態が「送信中」「送信完了」へと変化します。

受動送受信画面 1 , 2 の動作は 5.6.3 と同じです。

5.7 ACOSの帳票を今すぐホームページとして提供

5.7.1 ACOSの業務帳票データをAzia'n Transferへ登録する

ACOSの業務で印刷している帳票データ(例えば NIP:日本語プリンタや LP:ラインプリンタから印刷している帳票)をパソコン / Webサーバへホームページとして配信する(HTML 形式として変換する)ために一旦 Azia'n Transfer システムへ登録します。Azia'n Transfer システムへのデータ登録には専用の JCL (“AZLSET”)を利用して登録します。基本的には印刷又は受信する場合と同じです。

私有シスアウト(AVEC.PR)に “AZLIST_KS” という名前で存在する帳票ファイルを入力にして加入者 “KAIKATSU2” の 帳票 “AZLIST_K” へ格納します。

- 入力帳票情報

```

000010  ¥AZLSET
000020          INFILE=(AVEC.PR  SHARE=DIR SUBFILE=AZLIST_KS )
000030          LISTID=AZLIST_K  AKSCD=KAIKATSU2  ATRMID=PCL001
000040          LISTNM='加入者情報一覧表'
000050          DSNM=/C6/AZLIST.HTM  DV=C
000060          OPMD=C              OPT=(XSM=H);

```

- Azia'n transfer システムへの登録用 JCL -

入力データには Azia'n transfer システムのサービスプログラムである管理情報リストを使用しました。管理情報リスト(“AZLIST”)の利用方法は後で説明しています。

5.7.2 登録した帳票情報をホームページとして受信する

「Azia'n Transfer Menu」から受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」が表示されます。次に「番号==>」に「G」と入力し、受信したい帳票明細にカーソルを位置づけて実行キーを押すと「上記ファイル受信を開始しますか？ Y/N」を聞いてきますので必要項目に値を設定した後「Y」を入力すると受信が始まります。

Left Screenshot: File Search & Operation

AX50A0* 受信／印刷対象ファイル 検索＆操作 頁No 1 96-08-29 09:48:58
=> G

0:表示 1:[頁No] 改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 F:印刷 B:取消 K:削除 7:説明 9:終了

加入者: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
表示対象: (W:帳票ファイルのみ X:データファイルのみ △:両方とも表示)
ファイルID: []

●受信/印刷要求時情報 → 処理実行端末 [] 要求頁 [] ~ [] 優先度 []
●対象ファイル一覧 (Xキーにて未出力のもののみ表示)

ファイルID	名称	用紙	件数	作成日時	出力先	F	状態
CHECKDT	CHECKDT		100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ		100	0607 2000			未出力
SLFILE	プログラムソース		3387	0626 2011	PCL026	5	印刷済
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RPL013	5	未出力
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RPL013	5	未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RPL013	5	未出力
TESTF1	テストファイル1		181	0826 1734	PCL001		印刷済
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1953	X000271	5	抽出完了
AZPROTFL	ライセンス情報		1	0826 2309	WS5412	5	受信完了
TEXTFILE	テキストファイル		29	0828 1532	PCL001	5	受信完了
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0828 1752	RPL001	5	印刷完了

表示すべきデータはこれで終わります。
R 入力可 [03/11]

ETOS-JX Ver1.0

Right Screenshot: File Reception Confirmation

AX35A0S ファイルの受信をしますか? 96-08-29 09:51:03
=> G:受信開始指示

0:表示 1:[頁No] 改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 F:印刷 B:取消 K:削除 7:説明 9:終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者: AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID: AZLIST_K 加入者情報一覧表
コメント: []

↓ ↓ ↓
加入者コード: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
受信範囲: A (F:未受信のデータのみ受信する A:受信済データも受信する)
受信後処理: T (U:受信済にする N:受信済にはしない)

●端末側ファイル情報
データセット名: [] (0~3:D0~D3 4~7:F0~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
出力モード: [] (0:置換 A:追加 N:新規作成 C:作成R置換 E:作成OR追加)
データ長: [] (出力モード=N,C,E時に作成ファイルのデータ長を特定したい時指定)
媒体容量(KB): [] (この値分受信すると媒体交換待ちになります)
●属性情報
オプション: []

処理実行端末: [] (省略すると当端末にて受信します)
アホ確認ID: []
データセット名を指定して下さい。
R 入力可 [03/11]

ETOS-JX Ver1.0

5.7.3 帳票情報受信中の画面とその確認

帳票情報の受信処理中は「只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい。」というメッセージが表示されます。このとき画面下中央に転送件数が表示されますので受信件数の目安にして下さい。受信処理が終了すると受信データ件数、受信バイト数が表示されますので確認した後、実行キーを押下すると初期メニュー「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。

Left Screenshot: File Reception Progress

AX30A0C 96-11-21 15:32:28

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者: AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID: AZLIST_K 加入者情報一覧表

↓↓ ↓ 只今、ファイル受信中です。しばらくお待ち下さい…。 ↓ ↓ ↓

加入者コード: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名: #C6#AZLIST.HTM
デバイス: C
●属性情報
オプション: XSM=H

R 入力不可 [03/11] 000036
ETOS-JX Ver1.0

Right Screenshot: File Reception Completion

AX30A0C ファイルの受信が正常終了しました 96-11-21 15:30:07
=> 7:操作説明 8:前画面 9:終了

●ホスト側ファイル情報
発生源加入者: AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
ファイルID: AZLIST_K 加入者情報一覧表

↓ ↓ ↓
加入者コード: KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名: #C6#AZLIST.HTM
デバイス: C (0~3:D0~D3 4~7:F0~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
出力モード: C (0:置換 A:追加 C:作成)
媒体容量(KB): [] (この値分受信すると媒体交換待ちになります)
●属性情報
オプション: XSM=H

受信データ件数: 11 件 受信バイト数: 7520 BYTE

御確認の上実行キーを押して下さい。
R 入力可 [03/11]

ETOS-JX Ver1.0

初期メニューから「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」を表示してみましょう。
「番号=>」にカーソルを合わせて「1」を入力し実行キーを押すと「受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面」が表示され先程受信した帳票情報の状態が確認できます。更に詳細な情報が必要な場合には「=>」にカーソルを合わせて「3」を入力し、続いて該当する明細にカーソルを合わせます。この状態で実行キーを押すと「ファイル明細情報検索＆操作」が表示されます。

ファイルID	名 称	用紙	件 数	作成日時	出力先	P	状 態
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RPL013	5	未出力
TEXTFILE	テキストファイル		29	0928 1502		5	未出力
HS_FSIMF	請求書発行調整履歴		1	1108 1100	PCL001	5	受信完了
AZLIST_FM	ファイル明細情報一覧表	汎用	26	1111 1311	PCL001	5	受信完了
SLFILE	プログラムソース		9	1112 2026	PCL001	5	受信完了
MIB0200_F	MIB0200_FPR	汎用	1	1120 1335	PCL001	5	受信完了
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	1121 1528	PCL001	5	受信完了

3．受信／印刷対象ファイル 検索＆操作画面

AX50A0* ファイル明細情報検索＆操作 96-11-21 15:35:10

明細識別コード: KAIKATSUBOPDELQ6 物理ファイル: L0
 ファイル帳票ID: AZLIST_K 加入者情報一覧表
 コメント:
 宛 先加入者: KAIKATSU2 Asia'n Transferデモ加入者
 発生源加入者: AZSYSTEM AZIAホスト側業務一般
 現在の状態: 格納完了 受信完了

●属性情報
 ファイル名: 帳票 (SSF) 用紙媒体: 行数: 66 行間: W
 頁 数: 11 頁数: 6925 頁数: 8 ~ 150
 コピー部数: (既定値=0) 頁コピー数: (既定値=0) 編集: N (N, S, F, A)
 出力後の保存: Y (Y: 有 N: 無)
 ●作成 (格納 / 送信) 時情報
 格納時間: 96/11/21 15:28:49 ~ 96/11/21 15:28:59 ステータス: DONE
 格納元情報: X000201 XVP_ILIEMTN
 ●出力 (抽出 / 受信) 時情報
 受信時間: 96/11/21 15:32:25 ~ 96/11/21 15:32:43 ステータス: DONE
 受信先情報: PCL001 C:\C6\AZLIST.HTM
 受信済頁数: 1 ~ 11
 ●受信/印刷要求時情報
 処理実行端末: 要求頁: ~ 優先度: (既定値=5)

4．ファイル明細情報検索＆操作

5.7.4 受信した帳票情報をブラウザで開く

受信した帳票情報をブラウザを使って見てみましょう。

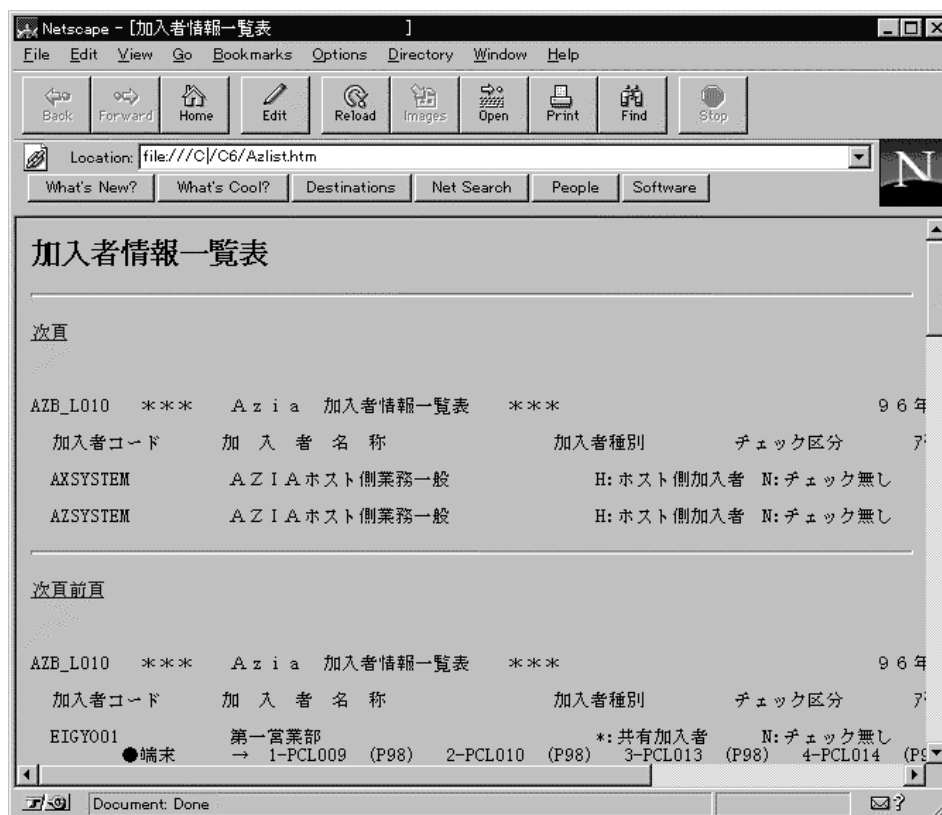
1. AZLISTを選択してクリックする

2. 加入者情報一覧表

加入者情報一覧表

ページが表示されました。

ここでは Internet Explorer でご覧顶きましたが、Netscape Navigator,その他各種ブラウザでもお試下さい。



今回はA C O Sの帳票をホームページ(HTML 形式)に変換し、ファイルから開く方法をご覧顶きました。尚、Web サーバーへ直接ダウンロードするなど業務と組み合わせることにより、A C O Sにつながらない端末からでもA C O Sの生情報を取得でき、毎日の人手を介するわずらわしいホームページ更新作業から開放されます。

5.8 Azia'n TransferのRJE機能

Azia'n Transfer のRJE (Remote Job Entry)機能とは、N5200(S3100,S3050) 又はPC (サーバー) 上に存在する、JCL記述の含まれるデータをホストへ送信し、ホスト受信完了を契機にして受信したJCLデータを起動することができます。

尚、ホスト処理起動後は本システムからの状態監視はできません。ジョブ実行状況等の監視をする場合には、別コンポーネントであるAVECS「VISジョブ管理システム」及び「VISジョブ自動運転システム」との併用をお勧めします。

それでは実際にRJE機能を使ってJCLを起動してみましょう。

5.8.1 ACOS送信用のJCLデータを用意する

送信後に起動するJCLデータを N5200(S3100,S3050) 又はPC (サーバー) 側で用意します。このとき用意するJCLデータは行番号を含まない単純なデータ形式(テキスト形式)のJCLを用意します。尚、JCLデータ内にSYSINデータが存在していても構いません。

ここではPCの「C:」ドライブ,「¥C6」ディレクトリに「TETXFILE.TXT」というファイルを用意しました。

```
*****
* MSGPRINT:メッセージログ採取処理                                     *
*****
¥JOB MSGPRINT CLASS=P NCLIST REPORT=ABNORMAL;
¥JOR OUTID=SPR WRITER=ATSS NOBANNER;
¥MSGPRINT OPTION=DATETIME,DT=(961202/0700,961202/1015)
        WIDTH=80 TEXT=NCMSG CNSL=ALL;
¥ENDJOB;
```

- 送信後に起動するJCLデータ例(メッセージログ採取処理/C:¥C6¥TETXFILE.TXT) -

5.8.2 JCLデータをACOSに送信する

「Azia'n Transfer Menu」からファイルの送信画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「20」を入力し実行キーを押すと「ファイル送信画面」が表示されます。次に必要項目に値を入力し、この状態で実行キーを押すと「上記ファイル送信を開始しますか? Y/N」を聞いてきますので「Y」を入力すると送信が始まります。

このときRJE機能を利用する場合にはオプション欄に「RJE」と入力して下さい。また、送信データ内に漢字が含まれている(漢字をJIPS(E)に変換するがKI,K0は付加しない)場合には、同じくオプション欄に「KCNV=C」と入力します。

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX30A0 ファイルの送信をします 96-12-04 14:28:37
⇒ S

0:表示 S:送信開始指示 7:操作説明 8:前画面 9:終了

●ホスト側ファイル情報
宛先加入者 KAIKATSU2 (省略時は既定ホスト側加入者となります)
ファイルID TEXTFILE
↑↑↑
加入者コード KAIKATSU2 (省略時は当端末の所属加入者となります)
コメント

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#TEXTFILE.TXT
デバイス C (0~3:D0~D3 4~5:F0~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
媒体交換 B (Y:有り N:無し)
●送信時属性情報
オプション KCMV=C, RTE

処理実行端末 (省略すると当端末より送信します)

予約権ID

R 入力可 **RCF/IF**

ETOS-JX Ver1.0

実行キー押下前

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX3SA0R ファイルの送信をしますか? 96-12-04 14:31:53
⇒

0:表示 S:送信開始指示 7:操作説明 8:前画面 9:終了

●ホスト側ファイル情報
宛先加入者 KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
ファイルID TEXTFILE テキストファイル
↑↑↑
加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
コメント

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#TEXTFILE.TXT
デバイス C (0~3:D0~D3 4~5:F0~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
媒体交換 B (Y:有り N:無し)
●送信時属性情報
オプション KCMV=C, RTE

処理実行端末 (省略すると当端末より送信します)

予約権ID

上記ファイル送信を開始しますか? Y/N
R 入力可 **RCF/IF**

ETOS-JX Ver1.0

実行キー押下後

5.8.3 JCLデータ送信中の画面と起動確認

JCLデータの送信処理中は「只今、ファイル送信中です。しばらくお待ち下さい。」というメッセージが表示されます。このとき画面下中央に送信件数が表示されますので転送件数の目安にしてください。送信処理が終了すると送信データ件数、送信バイト数、処理起動要求受付が表示されますので確認した後、実行キーを押下すると初期メニュー「Azia'n Transfer Menu」に戻ります。

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

96-12-04 15:10:54

●ホスト側ファイル情報
宛先加入者 KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
ファイルID TEXTFILE テキストファイル
↑↑↑ 只今、ファイル送信中です。しばらくお待ち下さい…。↑↑↑

加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#TEXTFILE.TXT
デバイス C
●属性情報
オプション KCMV=C, RTE

R 入力可 **RCF/IF** 000014

ETOS-JX Ver1.0

- 送信処理中画面

ETOS-JX (acos4)

送信(S) セクション(S) ファイル転送(F) 簡易操作(Q) 編集(E) 表示(D)
オプション(O) ヘルプ(H)

AX30A0C ファイルの送信が正常終了しました 96-12-04 15:11:05
⇒

7:操作説明 8:前画面 9:終了

●ホスト側ファイル情報
宛先加入者 KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者
ファイルID TEXTFILE テキストファイル
↑↑↑
加入者コード KAIKATSU2 Azia'n Transferデモ加入者

●端末側ファイル情報
データセット名 #C6#TEXTFILE.TXT
デバイス C (0~3:D0~D3 4~5:F0~F2 A~Z:DRIVEA~Z)
出力モード (0:置換 A:追加 C:作成)
媒体容量(KB) (この値分受信すると媒体交換待ちになります)
●属性情報
オプション KCMV=C, RTE

送信データ件数 14 件 送信バイト数 861 BYTE

MSGPRINT 処理起動しました。

御確認の上実行キーを押して下さい。

R 入力可 **RCF/IF**

ETOS-JX Ver1.0

- 送信処理終了画面

5.9 加入者毎，又は端末毎に表示するメニューを変える。

Azia'n Transfer のメニュー管理機能では、業務（A P）接続後の初期表示メニューを加入者毎または端末毎に表示するメニューを使い分けることができます。また動的に変更することもできます。

これにより会社全体の端末メニューをきめ細やかに設定することがホスト側から一元管理できます。例えば、部署毎に利用できるメニュー（処理）を限定する。急にある部署から処理をしたいと要望を受けた。このような場合にもホスト側から即座にメンテナンスして要求に応えることができます。

尚、ここでは“ A Z A P ”を例に挙げてご説明していますが、今お使いのユーザー業務側でも Azia'n Transfer 業務で使っておりますメニュー管理機能を業務用メニューとしてご利用頂くことができます。ユーザー業務で当メニュー機能を利用する場合には弊社担当 S E まで御相談下さい。

それでは実際に「V I S メニュー情報メンテナンス」及び「資源別メニュー情報メンテナンス」を操作してメニュー管理を行っててみましょう

5.9.1 V I S メニュー情報メンテナンス画面を表示する。

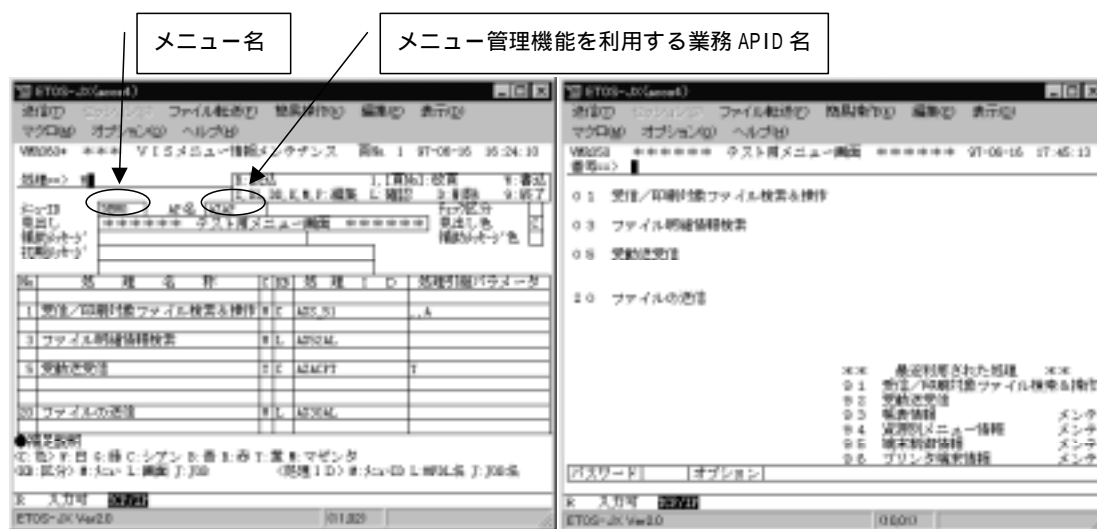
「Azia'n Transfer Menu」から V I S メニュー情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号=>」にカーソルを合わせて”M”を入力し、画面下左枠のパスワードを入力後実行キーを押下すると「V I S メニュー情報メンテナンス画面」が表示されます。

The left screenshot shows the 'Azia'n Transfer Menu' screen. It has a menu bar with options like '送信', 'セッション', 'ファイル転送', etc. Below the menu bar, there's a list of menu items and their corresponding maintenance actions. The right screenshot shows the 'V I S メニュー情報メンテナンス' screen. It has a menu bar with options like '送信', 'セッション', 'ファイル転送', etc. Below the menu bar, there's a table for managing menu items and their parameters. The table has columns for 'No.', '処理名称', 'C', 'KB', '処理ID', and '処理引継パラメータ'. The table contains several rows of data, including '受信/印刷対象ファイル検索&操作', 'ファイル明細情報検索', '受動送受信', and 'ファイルの送信'.

※ V I S メニュー情報メンテナンスの詳細に付きましては「V I S メニュー管理システム説明書」をご覧ください

5.9.2 個別メニュー画面を作成する。

メニュー内容、メニューID、AP名を入力の後、「処理==>」の位置で「W」を入力して実行を押下します。画面下に「更新が正常終了しました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正して下さい。



- 登録画面 -

- 登録画面の表示例 -

それでは、今登録したメニュー画面を表示してみましょう。「Azia'n Transfer Menu」に戻り「番号==>」に位置づけて「R DEMO」と入力します。次に画面下左枠のパスワードを入力後実行キーを押下すると、たった今作成したメニュー画面が表示されます（上記図 - 登録画面の表示例 - ）。

注意：この段階では登録したメニューを表示する方法は上記手段のみです。

ここで重要（キー情報）となるのが**メニューID**と**AP名**です。これを次にご説明する資源別メニュー情報メンテナンス画面で登録することにより、端末毎、又は加入者毎に最初に表示するメニューの内容を使い分けることができます。

5.9.3 資源別メニュー情報メンテナンス画面を表示する。

「Azia'n Transfer Menu」から資源別メニュー情報メンテナンス画面を表示してみましょう。「番号==>」にカーソルを合わせて「74」を入力し実行キーを押すと「資源別メニュー情報メンテナンス画面」が表示されます。

5.9.4 資源別メニュー情報を登録する。

資源種別(KS or WS), 資源ID(加入者コード or 端末ID)と先程登録したメニューキー情報(APID, メニュー名)を入力し実行を押下します。画面下に「資源別メニュー情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録処理は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正して下さい。

以上で登録処理は完了です。それでは一度APをログアウトして再度ログインして見て下さい。先程登録したメニューがログイン直後の第一画面として表示されます。

5.10 Azia'n Transfer 経由印刷後のプリンタ制御

Azia'n Transfer からフォームオーバーレイや印刷ピッチを変更して印刷した場合に、それに続く帳票（Azia'n Transfer 以外から印刷された帳票）が直前に印刷していた帳票の制御情報に影響され、ピッチ、桁ずれや印刷障害などを引き起こす場合があります。これは Azia'n Transfer の場合にも同じことが考えられますが、Azia'n Transfer では文字ピッチなどを意識しながら印刷しているため帳票情報メンテナンス画面または JCL から指示するだけで対応でき、他の処理からはそれほど影響は受けません。

しかし、帳票の種類が様々でいろんな方面から印刷する場合に Azia'n Transfer だけで運用することは難しくなります。この様にいろんな環境から印刷する場合の対策として、Azia'n Transfer では印刷終了後にプリンタ及び帳票に対してシーケンスを強制的に排出し、後続の帳票に影響を与えない印刷を制御することができます。

尚、情報系プリンタと PC201 系、NPDL 系とプリンタ毎にシーケンスコードは異なりますのでプリンタマニュアルを参照して正しく登録してください。登録方法が分からない場合には安易に登録せず、弊社 SE にご相談下さい。

それでは実際に端末制御情報メンテナンス画面を使ってシーケンス情報の登録とその機能を使って印刷してみましょう。

5.10.1 端末制御情報メンテナンス画面を表示する

「Azia'n Transfer Menu」から端末制御情報メンテナンス画面を表示してみましょう。

「番号==>」にカーソルを合わせて「86」を入力し実行キーを押すと「端末制御情報メンテナンス画面」が表示されます。

No.	Range
1	32
33	64
65	96
97	128
129	160
161	192
193	224
225	256
257	288
289	320

- 端末制御情報メンテナンス画面 -

5.10.2 端末制御情報メンテナンス画面を使ってシーケンスを登録する

制御情報ID、端末種別、データタイプ、端末制御情報を入力した後に「==>」に”W”と入力し、実行キーを押すと端末制御情報が登録されます。画面下に「端末制御情報のメンテナンスを行いました。」というメッセージが表示されれば登録は正常終了しました。これ以外のメッセージが表示された場合には指示に従い修正してください。

尚、ここでは情報系プリンタに対して Azia'n Transfer から日本語ピッチ 10.8 ポイントでの印刷終了後、14.4 ポイントに戻すシーケンスを送出する登録を行っています。

複数のシーケンスを送出させて状態を変更したい場合には最初に設定した端末制御情報に続けてシーケンスコードを入力してください。

開始	終了	シーケンスコード
1	2	1A24212474
33	66	
66	96	
96	128	
128	160	
161	192	
193	224	
225	256	
257	288	
289	320	

シーケンスコード
(漢字印字ピッチを 14.4
ポイントに戻す)

<端末制御情報例>

漢字印字ピッチを 14.4 ポイントに戻す

1A24212474

漢字印字ピッチを 14.4 ポイントに戻し、且つ漢字文字サイズを標準に戻す

1A242124741A26212068212078

この画面のキー項目は「制御情報 ID」「端末種別」となります。次にご説明するプリンタ端末情報メンテナンス及び帳票情報メンテナンスではここで登録した「制御情報 ID」を登録することになりますので忘れないで下さい。

5.10.3 登録したシーケンスをプリンタ単位に設定する

「Azia'n Transfer Menu」からプリンタ情報メンテナンス画面を表示します。ここで対象となるプリンタを呼び出した後に先程登録した制御情報 ID を入力し書き込みます。尚、先程の登録(5.10.2)で入力した端末種別が当画面のプリンタ種別と一致していなければなりません。一致していない場合には正常に動作しませんのでご注意ください。

ETOS-JX Ver2.0
AZ10AD+ プリンタ情報 メンテナンス
27-05-06 17:10:20
表示: K [F7] 設定 M [F8] 書込 D [F9] 印刷
操作: T [F1] 実行説明 S [F2] 前画面 E [F3] 終了
プリンタID: RP1001
プリンタ名称:
基本所属加入者: RAIRATSUR 階層:
プリンタ種別: [F1] PC, [F2] 32bit, [F3] 386/486, [F4] 5000系, [F5] PC系, [F6] 9000系
開帳シート区分: [Y] 付加する N: 付加せず * 帳票情報に依存
終了シート区分: [Y] 付加する N: 付加せず * テキストのみ * 帳票情報に依存
用紙幅設定: [Y] 常に確認待ちとする M: 常に確認待ちとせず * 帳票情報に依存
●帳票出力時のプリンタ制御設定表示情報
表示内容: [Y] 表示しない N: 障害発生時のみ表示 (全て表示)
表示区分: [Y] 表示元又は下記の帳票に適用する下記の帳票のいずれかに適用
表示先帳票: ① ② ③
●制御情報 (必ず入力してください！)
制御情報ID: C14 (帳票出力終了時に送信するプリンタ制御情報ID)
制御情報名: [Y] 帳票の欄 N: 帳票の欄
開帳シート区分: [Y] 両面に設定する N: 設定せず
加入者別区分: [Y] 加入者別区分を処理する N: 処理しない
配列APIID: [Y] (使用する配列APIIDのID番号)
R 入力可 C14/21
ETOS-JX Ver2.0 (06.01)

登録した制御情報 ID を入力する。この際プリンタ種別も同様の形式で予め登録されていない。

以上でプリンタ登録は完了します。それでは¥AZLSET から実行して印刷してください。

5.10.4 登録したシーケンスを帳票単位に設定する

「Azia'n Transfer Menu」から帳票情報メンテナンス画面を表示します。ここで対象となる帳票を呼び出した後に先程登録した制御情報 ID を入力し書き込みます。

ETOS-JX Ver2.0
AZ10AD+ 帳票情報 メンテナンス
27-05-06 17:22:06
表示: K [F7] 設定 M [F8] 書込 D [F9] 印刷
操作: T [F1] 実行説明 S [F2] 前画面 E [F3] 終了
帳票ID: APLIST E
帳票名称: [Y] 加入者別区分
用紙幅設定: [Y] 表示
行幅/頁: [Y] 1/6 N: 1/6 1: 16/120
HCP: [Y] 1/6 N: 1/6 1: 16/120
FPI: [Y] 1/6 N: 1/6 1: 16/120
日本語: [Y] 1/6 N: 1/6 1: 16/120
編集モード: [Y] 1/6 N: 1/6 1: 16/120
開帳シート区分: [Y] 付加する N: 付加しない
終了シート区分: [Y] 付加する N: 付加しない
FOLIOSET: [Y] 1/6 N: 1/6 1: 16/120
制御情報ID: C14 (帳票出力終了時に送信するプリンタ制御情報ID)
制御情報名: [Y] 帳票の欄 N: 帳票の欄
開帳シート区分: [Y] 両面に設定する N: 設定せず
加入者別区分: [Y] 加入者別区分を処理する N: 処理しない
配列APIID: [Y] (使用する配列APIIDのID番号)
R 入力可 C14/21
ETOS-JX Ver2.0 (06.01)

登録した制御情報 ID を入力する。

以上で帳票登録は完了します。それでは¥AZLSET から実行して印刷してください。

5.11 Azia'n Transfer を使った PC-COBOL の利用

今迄情報系端末(N5200 等)で利用されていた COBOL プログラムをサーバー又はクライアント上で動く PC-COBOL に置換えた場合、PC で扱えるデータ形式が一般に**テキスト形式**と言われる区切り文字や改行コード(CRLF)等が付加されたデータ形式であるため、ソースプログラムの修正が必要となりました(ORGANIZATION IS LINE SEQUENTIAL 指定)。

尚、PC-COBOL の場合にはこのテキスト形式の他に**固定長順ファイル**という区切り文字や改行コード(CRLF)等が要らない特別なデータ形式が利用できます。これは業務システムを N5200 から PC に置換えた場合でも、入力となるデータ形式は情報系端末(N5200 等)で利用されていた従来形式と全く同じ形式で取り込むことができるため、元のプログラムにはほとんど手を加える必要がありません(ORGANIZATION IS SEQUENTIAL 指定)。

この章ではこの従来形式のデータ(固定長順ファイル)を利用する場合に Azia'n Transfer を使ってホストから PC ヘデータをダウンロード、PC からホストへアップロードして PC-COBOL を動かすための方法と注意事項を記述します。

5.11.1 固定長順ファイルをAzia'n Transferシステムに登録する

従来形式のデータ(固定長順ファイル)を¥AZFSET マクロを利用して Azia'n Transfer に登録します。

このとき入力データのフォーマット変換を必要としない場合にはプラグインモジュール(PLUG~)を利用する必要はありません。入力データのフォーマット変換が必要となる場合として次の内容に該当する場合にはフォーマット変換を施して下さい。

転送対象データに漢字が含まれている場合には必ずシフトコード(KIKO)を付加する必要があります。この時、まだ対象データにシフトコード付加処置が施されていない場合。

ホスト側ファイルと PC 側ファイルとの間でデータ格納形式が異なる場合。

例えば数字項目でホスト上では COMP-3 形式で利用されているが PC 側では S9 形式で利用されている場合。ANK、漢字項目でも桁数が異なる場合。レコード長が異なる場合等。

尚、JCL では次の OLENG,OPT は必ず指定して下さい。詳細は Azia'n Transfer システム説明書(5-B)を参照して下さい。

¥AZFSET	~
	OLENG=データ長
	OPT=(BIN,KCNV=Y); バイナリ転送, 漢字変換

5.11.2 登録された固定長順ファイルをパソコンに受信する

従来形式のデータ（固定長順ファイル）を Azia'n Transfer を使って PC に受信します。操作はテキストデータを受信したときと同じです。尚、¥AZFSET でデータ長、オプション(BIN,KCNV=Y)を指定しなかった場合には以下の画面から入力することもできます。

この受信処理が完了すると PC-COBOL 用データとして利用することができます。

5.11.3 固定長順ファイルをホストに送信する

従来形式のデータ（固定長順ファイル）を Azia'n Transfer（ファイルの送信画面）を使ってホストに送信します。操作はテキストデータを送信したときと同じです。

尚、従来形式のデータ（固定長順ファイル）を扱う場合の必須入力項目としてデータ長、オプション(BIN,KCNV=Y)を指定する必要があります。

5.11.4 登録された固定長順ファイルをAzia'n Transferシステムから取得する

従来形式のデータ（固定長順ファイル）を¥AZFGET マクロを利用して Azia'n Transfer から取得します。

このとき出力データのフォーマット変換を必要としない場合にはプラグインモジュール(PLUG～)を利用する必要はありません。出力データのフォーマット変換が必要となる場合として次の内容に該当する場合にはフォーマット変換を施して下さい。

転送対象データに漢字が含まれている場合でホストでそのデータを利用する場合にはシフトコード(KIKO)を除去する必要があります。

ホスト側ファイルと PC 側ファイルとの間でデータ格納形式が異なる場合。

例えば数字項目でホスト上では COMP-3 形式で利用されているが PC 側では S9 形式で利用されている場合。ANK, 漢字項目でも桁数が異なる場合。レコード長が異なる場合等。

尚、JCL ではテキストデータを取得する場合と同じです。詳細は Azia'n Transfer システム説明書(5-B)を参照して下さい。

¥AZFGET	～
	；

6 ヘルプを使う

Azia'n Transferには、操作方法、注意点などをまとめた「説明：オンラインヘルプ」というものが用意されています。これを使えば、その度にマニュアルを開かなくても、Azia'n Transferを操作していく上での不明点、語の意味などがわかります。

6.1 説明（ヘルプ）の使い方

説明（ヘルプ）は、どんな画面にも大概付いています。受信／印刷対象ファイル検索＆操作画面のメニューバーを見てみましょう。一番右側に説明（ヘルプ）があります。

AX50A0* 受信／印刷対象ファイル 検索&操作 頁 NO 1 96-08-31 16:09:58

=> 7■

0:表示 1:[頁 NO]:改頁 2:端末 3:詳細 G:受信 P:印刷 B:取消 K:削除 Z:説明 9:終了

オンラインヘルプマニュアル

このオンラインヘルプ「7：説明」を選択し実行キーを押すと、画面の操作方法や項目説明が表示されます。また、「7：説明」を選択し、画面上の対象項目にカーソルを位置づけて実行キーを押すと用語の意味を調べることが出来ます。

オンラインヘルプ画面の次の画面を表示するには、「7：説明」を選択したまま再度実行キーを押すと画面がスクロールします。

オンラインヘルプ画面を終了させるには現在選択している「7：説明」を解除し、実行キーを押すと、オンラインヘルプ画面が終了します。

ファイルID	名	用紙	枚	作成日時	出力先	F	状態
CHECKDT	CHECKDT		100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ		100	0607 2000			未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RFL013	S	未出力
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RFL013	S	未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RFL013	S	未出力
TESTFI	テストファイル1		161	0826 1734	PCL001		削除済
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1953	X000271		抽出完了
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1532	PCL001	S	受信完了
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0826 1752	PCL001	S	受信完了
AZPROTFL	ライセンス情報		1	0829 0953	WS5412	S	受信完了
SLFILE	プログラムソース		2561	0830 2215	PCL001	S	受信完了
SLFILE	プログラムソース		7483	0830 2216	PCL001	S	受信完了
SLFILE	プログラムソース		5334	0830 2216	PCL001	S	受信完了

ファイルID	名	用紙	枚	作成日時	出力先	F	状態
CHECKDT	CHECKDT		100	0607 1058			未出力
SOURCE	端末ソースデータ		100	0607 2000			未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1715	RFL013	S	未出力
AZLIST_F	ファイル明細情報一覧表	専用	7	0810 1716	RFL013	S	未出力
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0810 1722	RFL013	S	未出力
TESTFI	テストファイル1		161	0826 1734	PCL001		削除済
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1953	X000271		抽出完了
TEXTFILE	テキストファイル		29	0826 1532	PCL001	S	受信完了
AZLIST_K	加入者情報一覧表	専用	11	0826 1752	PCL001	S	受信完了
AZPROTFL	ライセンス情報		1	0829 0953	WS5412	S	受信完了
SLFILE	プログラムソース		2561	0830 2215	PCL001	S	受信完了
SLFILE	プログラムソース		7483	0830 2216	PCL001	S	受信完了
SLFILE	プログラムソース		5334	0830 2216	PCL001	S	受信完了